

Japan Trauma Data Bank Report 2019 (2014-2018)

Japan Trauma Care and Research

**The Japanese Association for the Surgery of Trauma
(Trauma Registry Committee)**



**The Japanese Association for Acute Medicine
(Committee for Clinical Care Evaluation)**



Figure
1A

JTDB参加施設名(全280施設、順不同) 2019年3月時点

市立札幌病院	前橋赤十字病院	東京都立墨東病院	諏訪赤十字病院
日鋼記念病院	(独)国立病院機構 高崎総合医療センター	都立広尾病院	飯田市立病院
札幌医科大学附属病院	SUBARU健康保険組合 太田記念病院	東京医科大学	伊那中央病院
手稲溪仁会病院	さいたま赤十字病院	東京医科大学八王子医療センター	長野赤十字病院
北海道大学病院	川口市立医療センター	慶應大学病院	長野市民病院
北斗病院	獨協医科大学越谷病院	聖路加国際病院	JA岐阜厚生連中濃病院
(独)国立病院機構 北海道医療センター	防衛医科大学校病院	東邦大学医療センター大森病院	岐阜大学医学部附属病院
旭川赤十字病院	埼玉医科大学総合医療センター	東京大学医学部附属病院	高山赤十字病院
札幌徳洲会病院	埼玉医科大学国際医療センター	公立昭和病院	大垣市民病院
市立函館病院	久喜総合病院	東京都済生会中央病院	下呂市立金山病院
八戸市立市民病院	深谷赤十字病院	国立成育医療研究センター	聖隷三方ヶ原病院
弘前大学医学部附属病院	自治医科大学附属さいたま医療センター	白鬚橋病院	沼津市立病院
青森県立中央病院	船橋市立医療センター	日本赤十字社医療センター	静岡赤十字病院
岩手医科大学	国保旭中央病院	東京都立多摩総合医療センター	静岡済生会総合病院
岩手県立久慈病院	日本医科大学千葉北総病院	国土館大学大学院	順天堂大学医学部附属静岡病院
岩手県立中央病院	千葉県救急医療センター	昭和大学横浜市北部病院	静岡県立総合病院
大崎市民病院	亀田総合病院	(独)国立病院機構 横浜医療センター	静岡徳洲会病院
東北大学病院	国保直営総合病院君津中央病院	聖マリアンナ医科大学	掛川市・袋井市病院企業団立
仙台市立病院	順天堂大学医学部附属浦安病院	関東労災病院	中東遠総合医療センター
石巻赤十字病院	千葉大学医学部附属病院	横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター	藤枝市立総合病院
(独)国立病院機構 仙台医療センター	松戸市立総合医療センター	東海大学医学部附属病院	浜松医科大学医学部附属病院
みやぎ県南中核病院	東京慈恵医科大学附属柏病院	昭和大学藤が丘病院	総合病院聖隷浜松病院
秋田赤十字病院	東京女子医科大学八千代医療センター	北里大学病院	愛知医科大学医学部附属病院
秋田大学医学部附属病院	東京ベイ・浦安市川医療センター	横須賀市立うわまち病院	名古屋掖済会病院
山形県立中央病院	千葉労災病院	横浜市立みなと赤十字病院	社会保険中央病院
太田西ノ内病院	東千葉メディカルセンター	日本医科大学武蔵小杉病院	岡崎市民病院
会津中央病院	昭和大学病院	済生会横浜市東部病院	豊橋市民病院
福島県立医科大学	(独)国立病院機構 東京医療センター	湘南鎌倉総合病院	総合大雄会病院
新潟市民病院	日本大学医学部社会医学講座	横浜市立市民病院	藤田保健衛生大学
新潟大学医学部総合病院高次救命災害治療センター	(独)国立病院機構 災害医療センター	小田原市立病院	名古屋市立大学病院
新潟県立新発田病院	武蔵野赤十字病院	横須賀共済病院	半田市立半田病院
魚沼基幹病院	日本医科大学多摩永山病院	平塚市民病院	春日井市民病院
筑波メディカルセンター病院	帝京大学	藤沢市民病院	小牧市民病院
茨城西南医療センター病院	国立国際医療研究センター	横浜労災病院	(独)国立病院機構 名古屋医療センター
(独)国立病院機構 水戸医療センター	東京女子医科大学東医療センター	横浜栄共済病院	名古屋第二赤十字病院
筑波大学附属病院	日本医科大学付属病院	新百合ヶ丘総合病院	三重大学医学部付属病院
茨城県立中央病院	杏林大学医学部附属病院	海老名総合病院	三重県立総合医療センター
水戸済生会総合病院	駿河台日本大学病院	川崎市立川崎病院	富山県立中央病院
獨協医科大学病院	東京女子医科大学	山梨県立中央病院	富山大学附属病院
自治医科大学	青梅市立総合病院	佐久総合病院佐久医療センター	厚生連 高岡病院
栃木県済生会宇都宮病院	日本大学医学部附属板橋病院	信州大学医学部附属病院	市立砺波総合病院
群馬大学医学部附属病院	東京医科歯科大学医学部附属病院	相澤病院	石川県立中央病院

Figure
1B

JTDB参加施設名(全280施設、順不同) 2019年3月時点

福井県立病院	和歌山県立医科大学附属病院	福岡和白病院
福井大学医学部附属病院	日本赤十字社和歌山医療センター	福岡赤十字病院
近江八幡市立総合医療センター	鳥取大学医学部付属病院	(独)国立病院機構 福岡東医療センター
済生会滋賀県病院	島根大学医学部附属病院	新行橋病院
京都第二赤十字病院	島根県立中央病院	(独)国立病院機構 九州医療センター
(独)国立病院機構 京都医療センター	岡山大学病院	佐賀県医療センター好生館
洛和会音羽病院	津山中央病院	佐賀大学医学部附属病院
市立福知山市民病院	川崎医科大学附属病院	(独)国立病院機構 嬉野医療センター
京都第一赤十字病院	倉敷中央病院	(独)国立病院機構 長崎医療センター
徳洲会宇治徳洲会病院	県立広島病院	長崎大学病院
京都府立医科大学	中国労災病院	荒尾市民病院
京都岡本病院	広島大学病院	熊本赤十字病院
京都大学医学部附属病院	(独)国立病院機構	(独)国立病院機構 熊本医療センター
りんくう総合医療センター	呉医療センター中国がんセンター	済生会熊本病院
大阪府三島救命救急センター	福山市民病院	大分大学医学部附属病院
近畿大学医学部附属病院	山口大学医学部附属病院	大分市医師会立アルメイダ病院
岸和田徳洲会病院	(独)国立病院機構 関門医療センター	県立宮崎病院
大阪大学医学部附属病院	徳山中央病院	宮崎大学医学部附属病院
大阪市立総合医療センター	山口県立総合医療センター	宮崎善仁会病院
関西医科大学附属滝井病院	徳島県立三好病院	都城市郡医師会病院
大阪市立大学医学部附属病院	徳島県立海部病院	大隅鹿屋病院
大阪府済生会千里病院千里救命救急センター	徳島県立中央病院	鹿児島市立病院
大阪府立急性期・総合医療センター	倚山会田岡病院	米盛病院
(独)国立病院機構 大阪医療センター	徳島赤十字病院	浦添総合病院
大阪府立中河内救命救急センター	香川大学医学部附属病院	中頭病院
関西医科大学附属枚方病院	香川県立中央病院	沖縄県立中部病院
堺市立総合医療センター	愛媛県立中央病院	沖縄県立北部病院
大阪警察病院	愛媛大学医学部附属病院	琉球大学医学部附属病院
神戸大学医学部附属病院	愛媛県立新居浜病院	豊見城中央病院
兵庫県災害医療センター	高知医療センター	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
公立豊岡病院但馬救命救急センター	近森病院	
公立村岡病院	高知赤十字病院	
関西労災病院	北九州総合病院	
兵庫県立西宮病院	小倉記念病院	
兵庫県立加古川医療センター	済生会福岡総合病院	
兵庫県立淡路医療センター	福岡大学病院	
兵庫医科大学病院	雪ノ聖母会聖マリア病院	
神戸市立医療センター中央市民病院	久留米大学病院	
製鉄記念広畑病院姫路救命救急センター	飯塚病院	
奈良県総合医療センター	健和会大手町病院	
奈良県立医科大学	北九州市立八幡病院	
近畿大学医学部奈良病院	九州大学病院	

本年の年次報告の対象症例は既に公表された2004年から2015年までの症例が含まれるが、2016年から2018年までの症例は2019年6月25日の時点で各施設の倫理委員会の承認が得られていた161施設のための症例に限られる。

Figure
2

地方別JTDB参加施設数

施設数

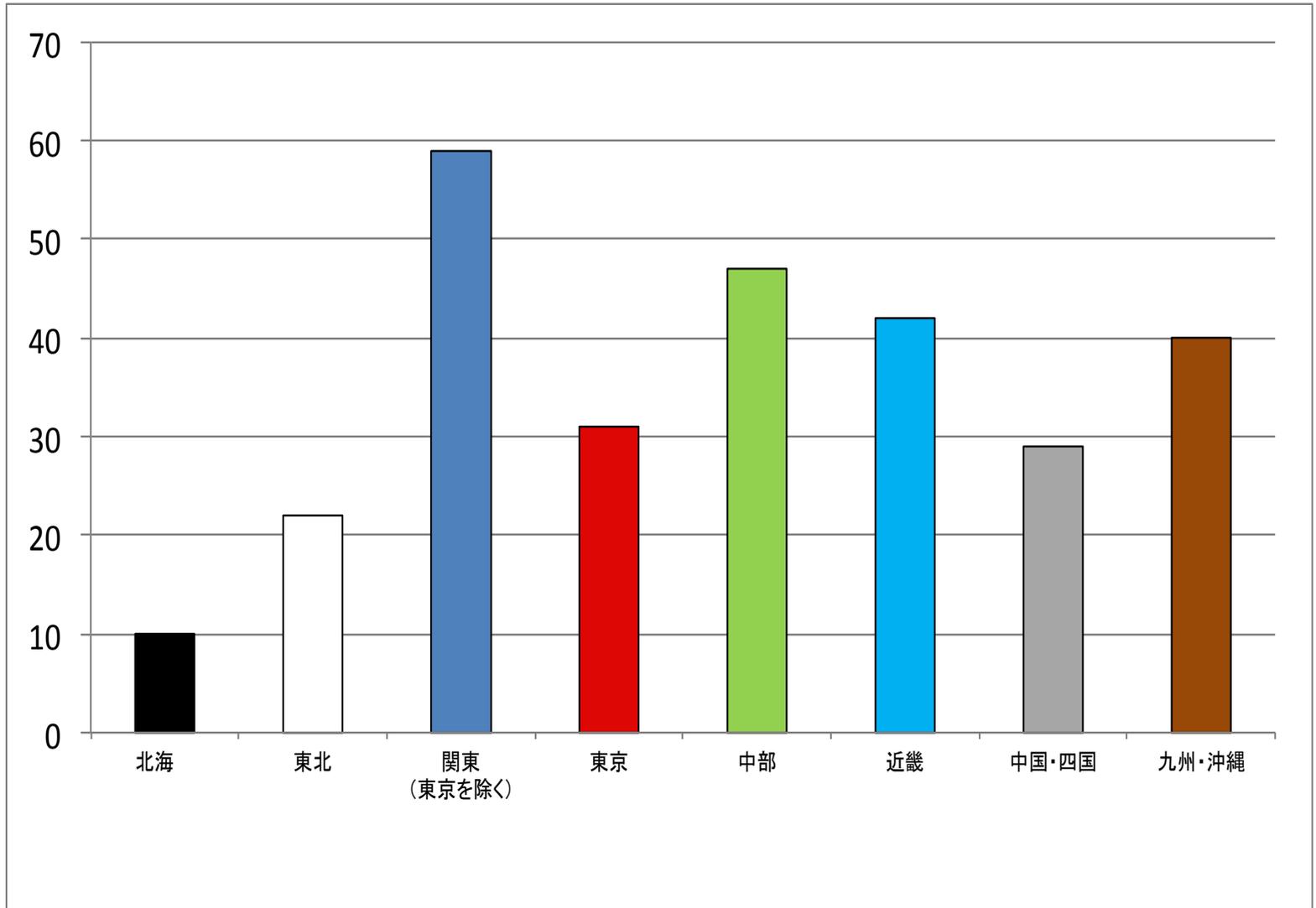


Figure
3

全症例年齢分布

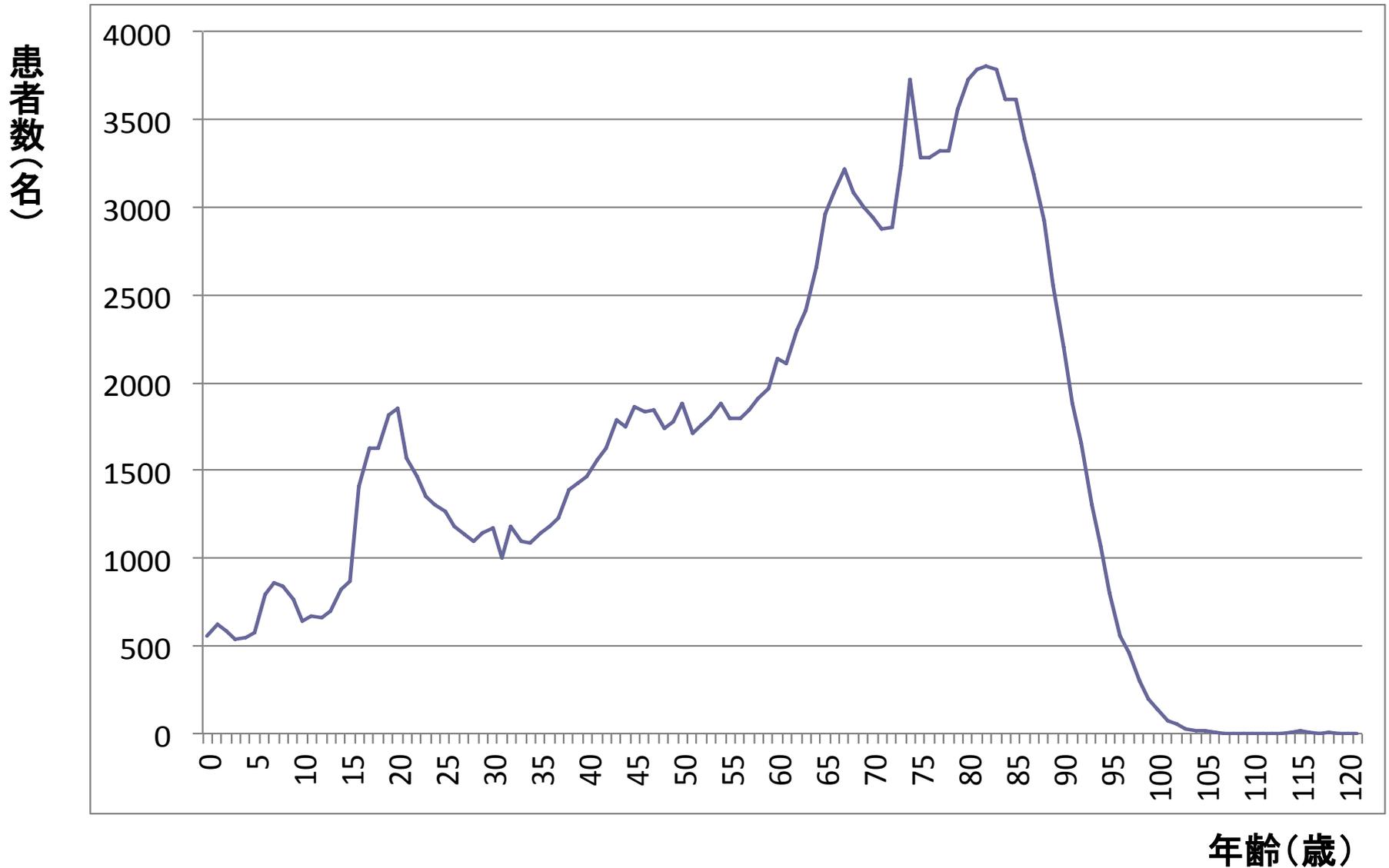


Figure
4

性別年齢分布

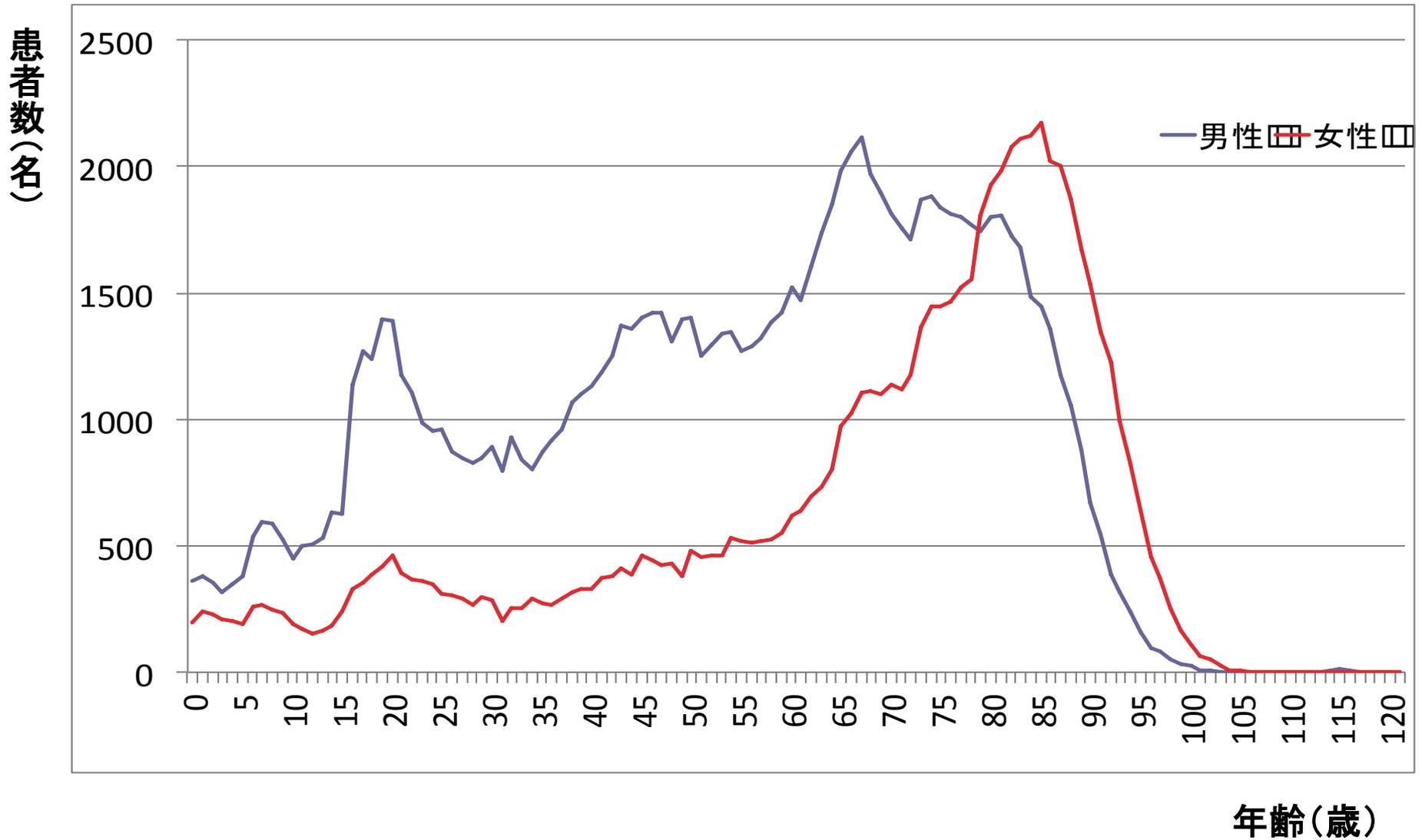


Figure
5

受傷機転別の患者数

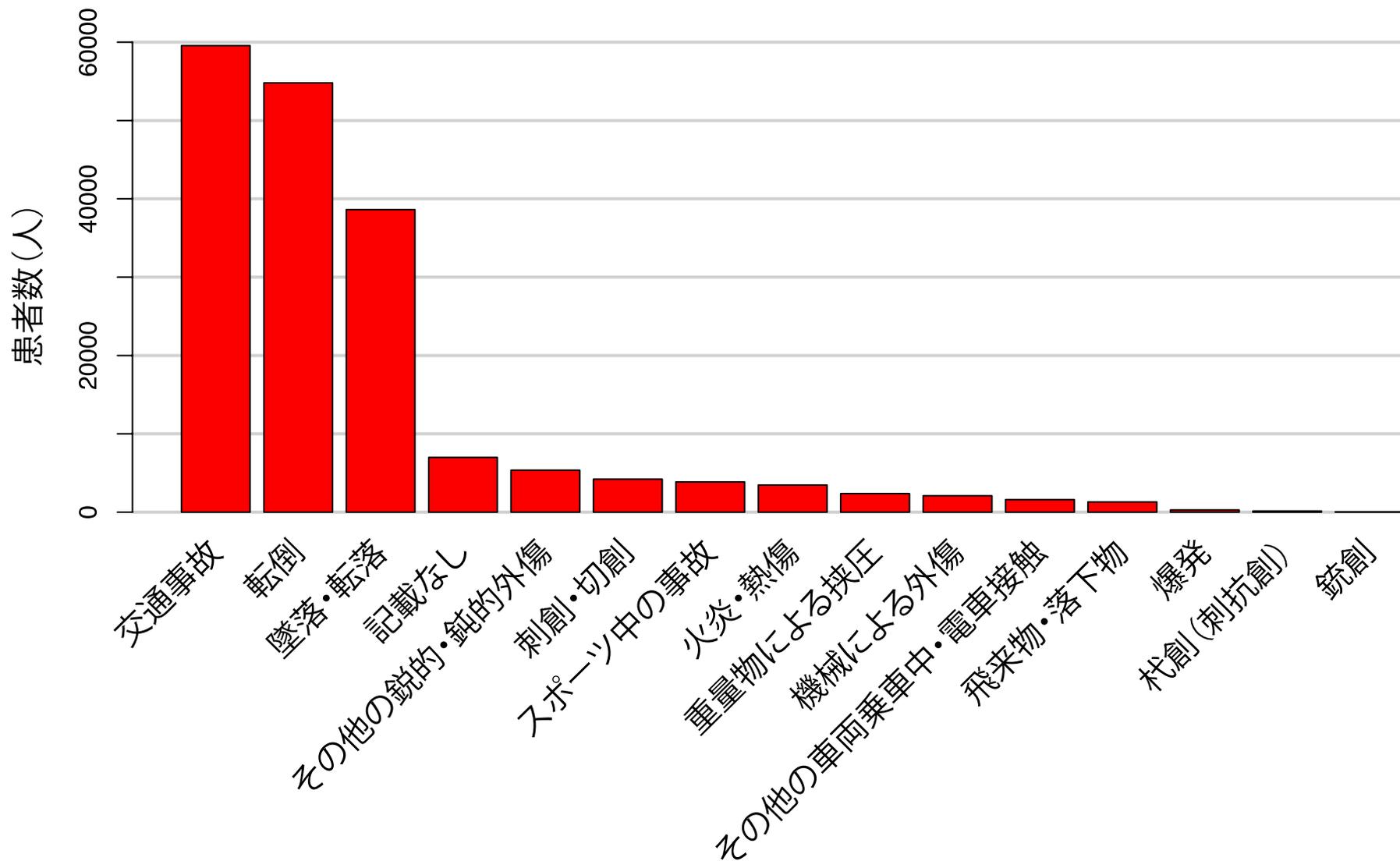


Table
5

受傷機転別の患者数の割合

受傷機転	患者数(人)	受傷機転別患者数の割合(%)
交通事故	59563	32.3
転倒	54794	29.7
墜落・転落	38625	20.9
記載なし	6977	3.8
その他の鋭的、鈍的損傷	5353	2.9
刺創・切創	4200	2.3
スポーツ中の事故	3862	2.1
火炎 / 熱傷	3461	1.9
重量物による挟圧	2374	1.3
機械による外傷	2086	1.1
その他の車両事故	1594	0.9
落下物、飛来物	1302	0.7
爆発	274	0.1
杵創(刺杭創)	130	0.1
銃創	36	0.0

Figure
6

受傷機転別患者数の年齢分布

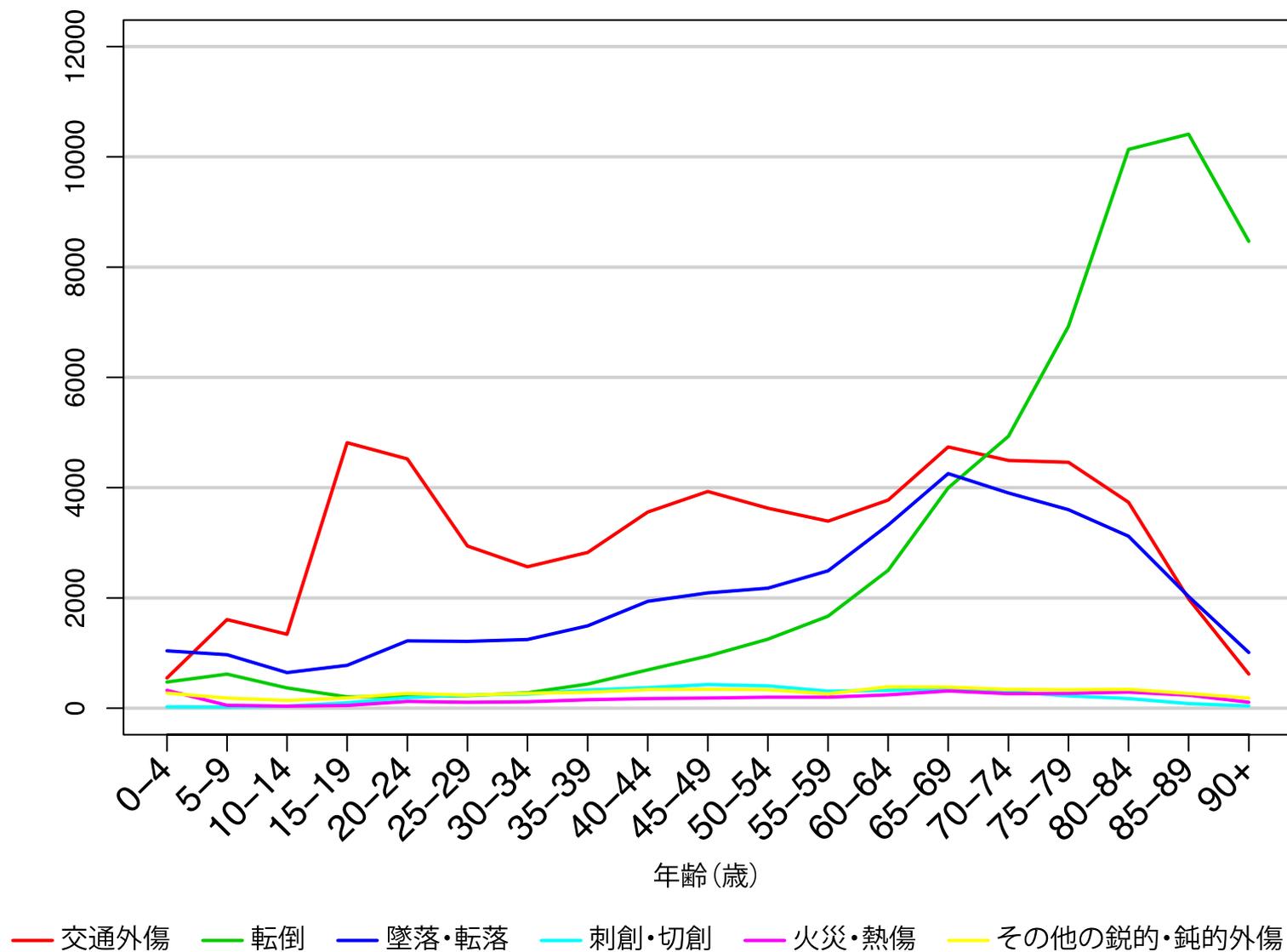


Figure
7

受傷機転別の死亡数

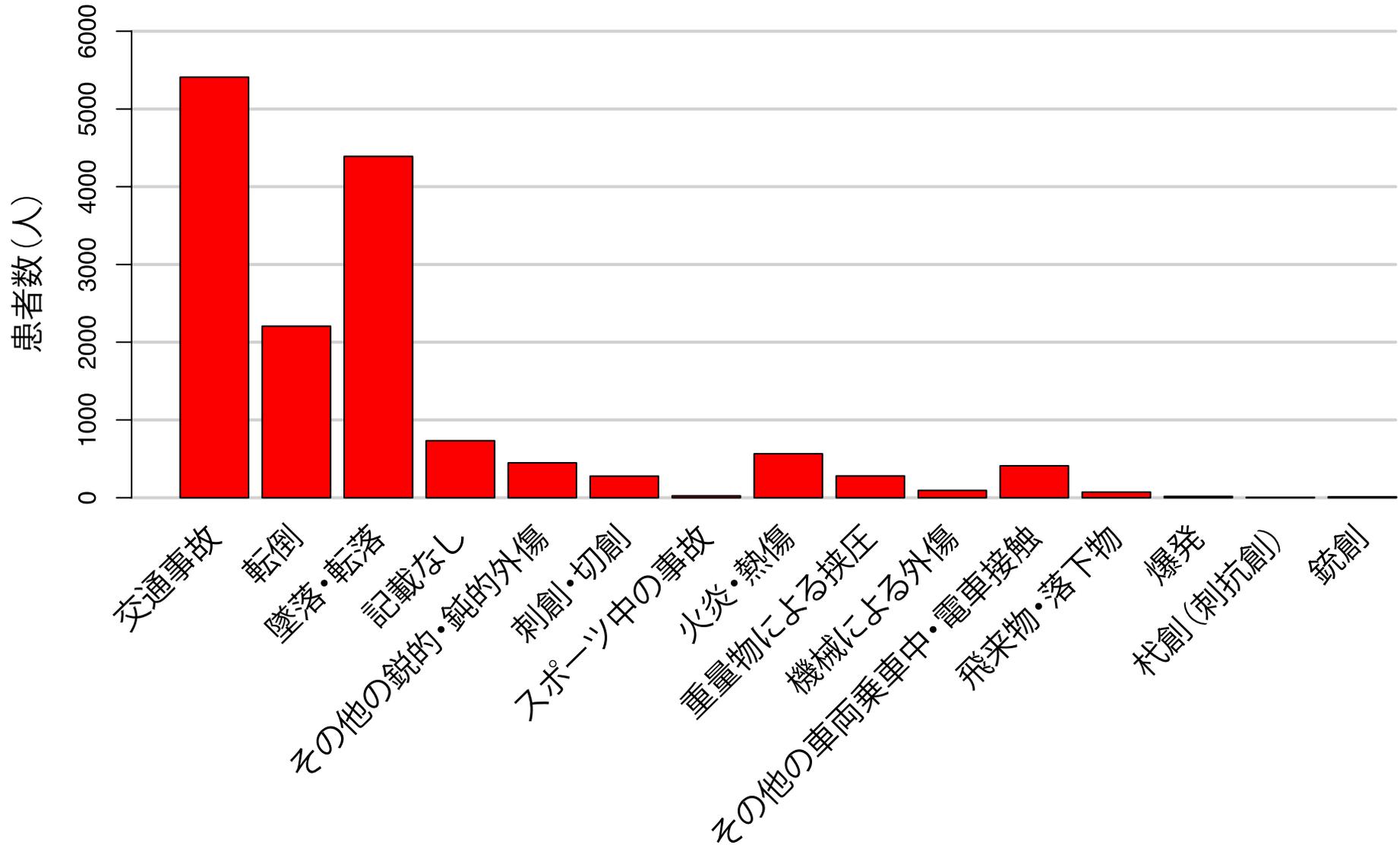


Figure
8

年齢別の患者死亡率

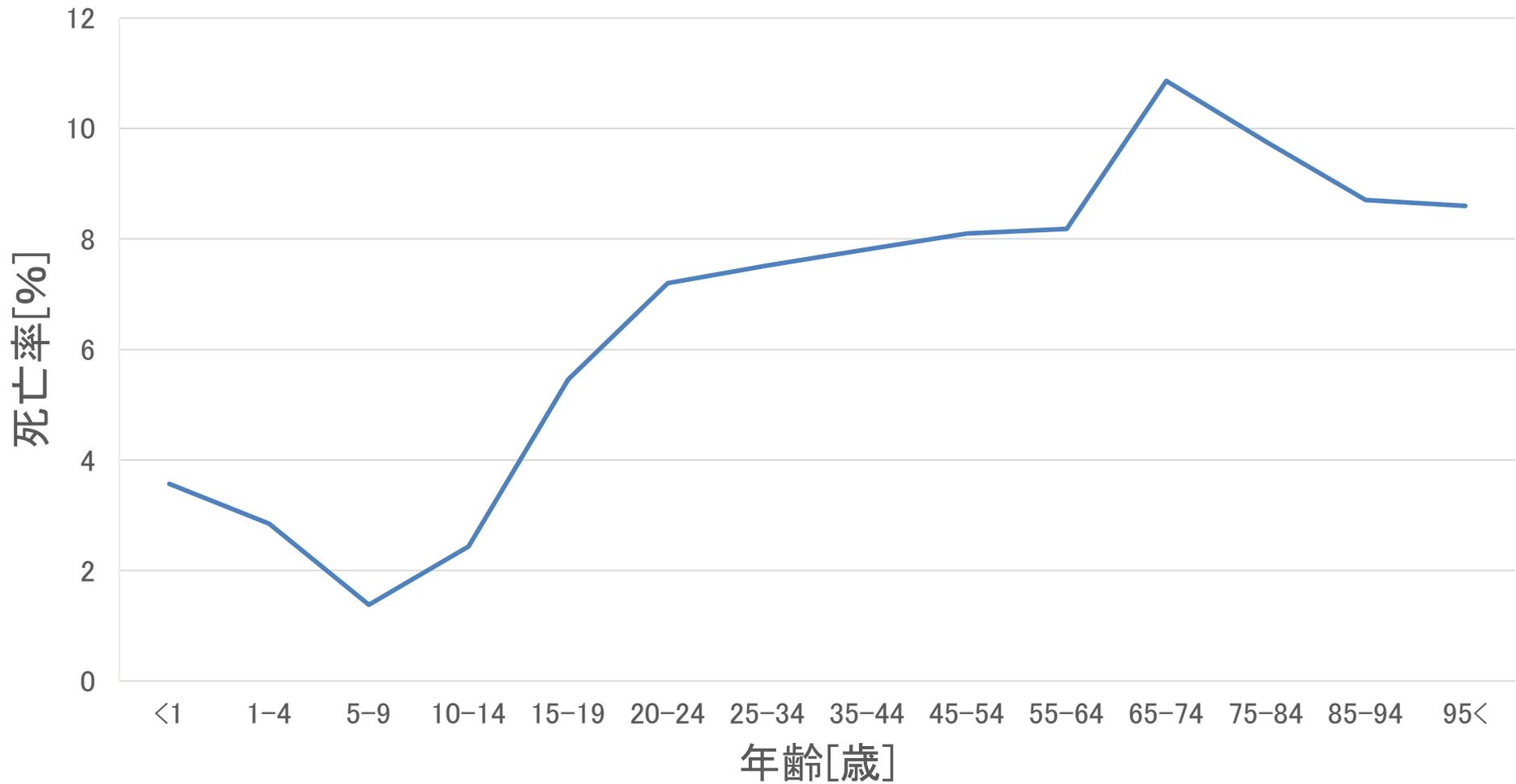


Figure
9

性別と年齢別の患者死亡率

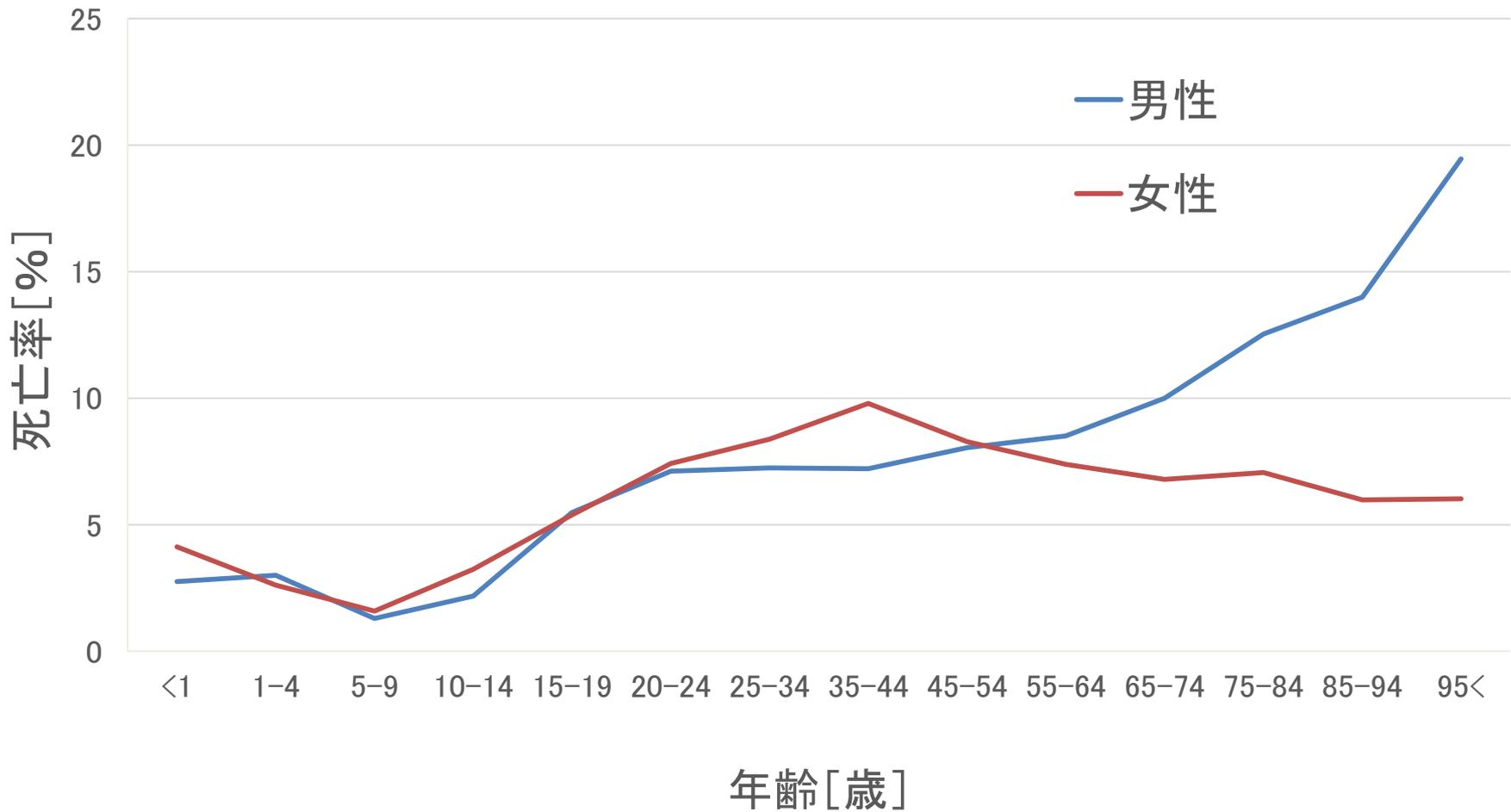


Figure
10

受傷機転と年齢別の患者死亡率

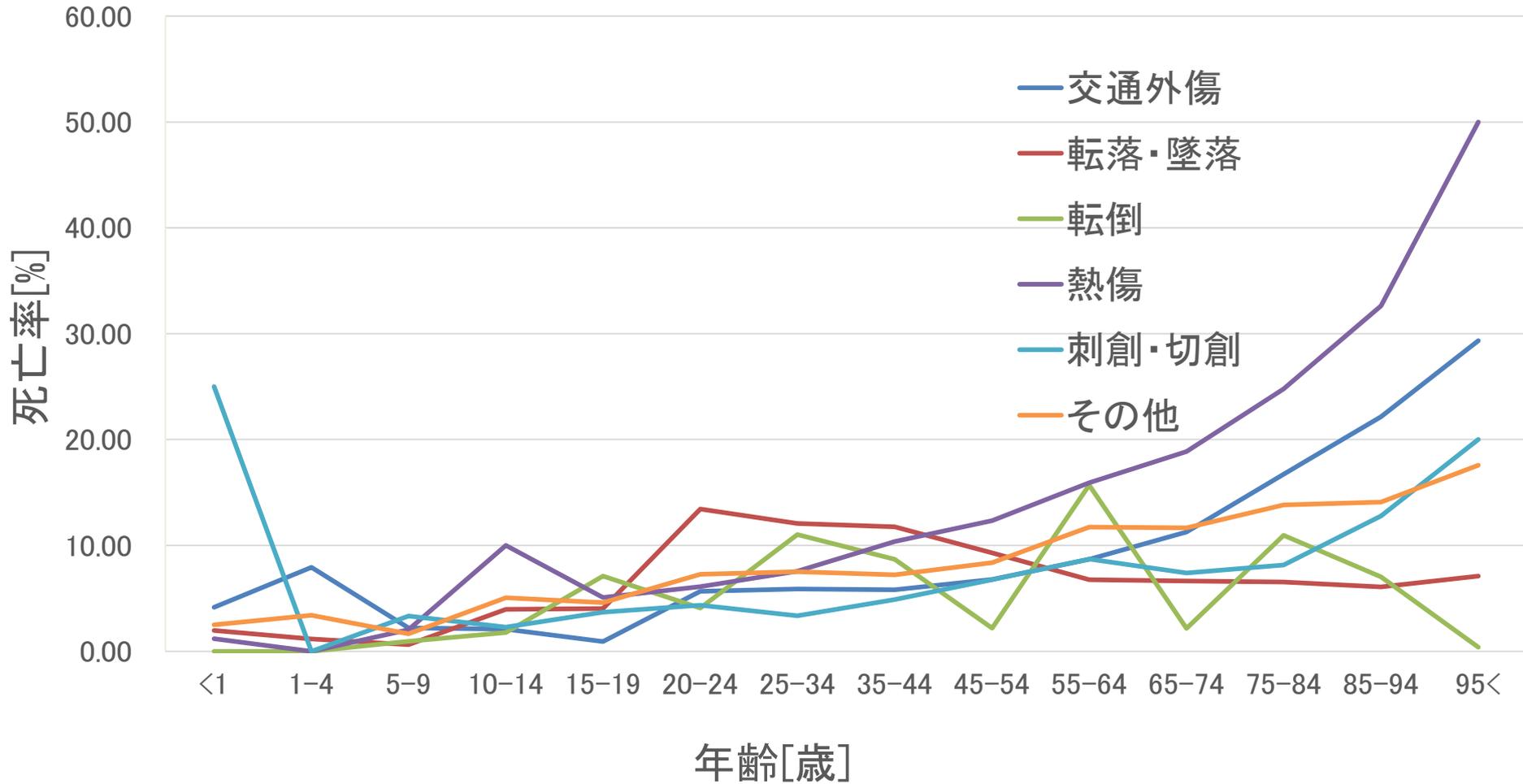
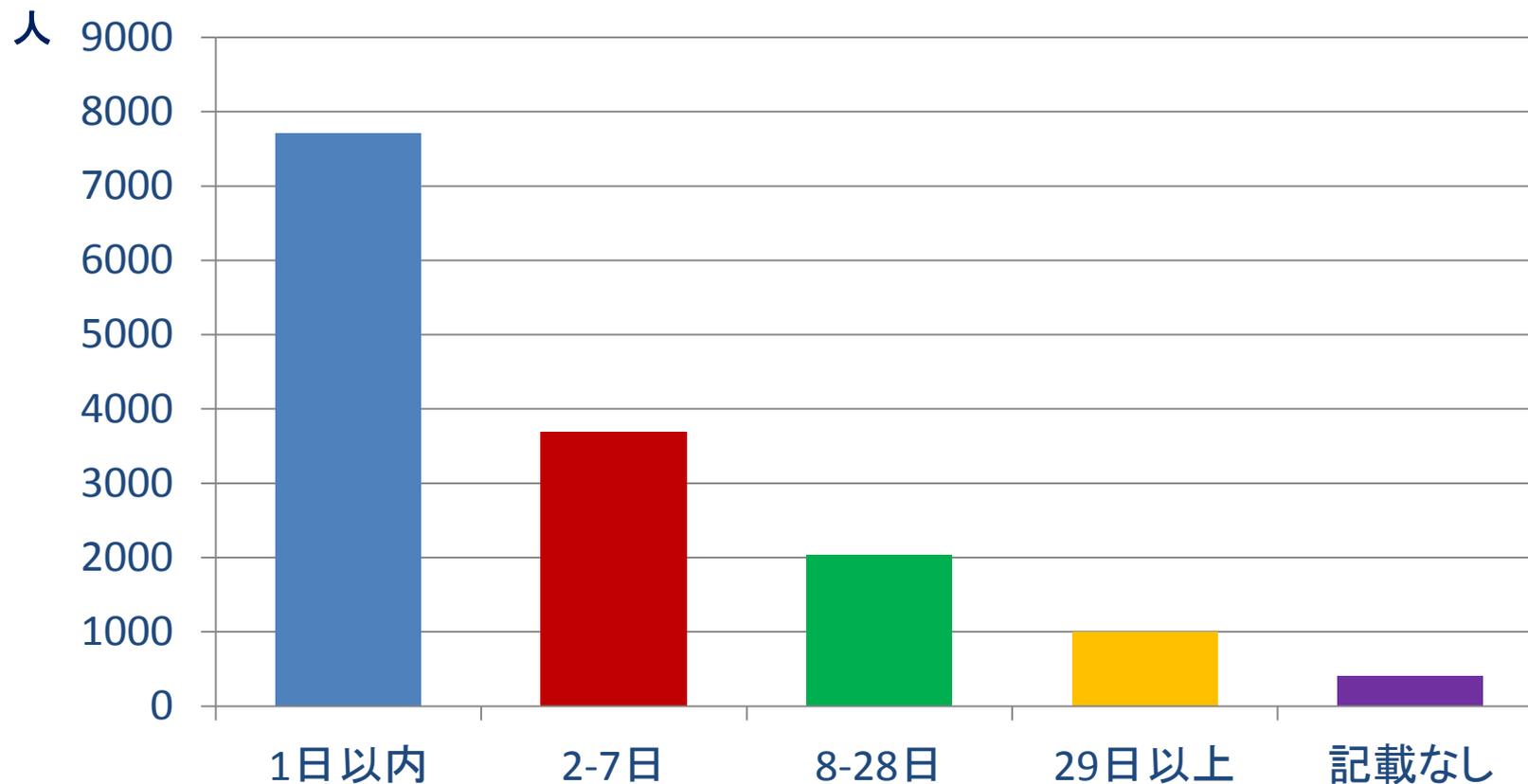


Figure
11A

死亡症例における入院日数別の症例分布 n =14,851



「1日以内」には、来院時心肺停止症例と初療室での死亡症例を含む。

Figure
11B

死亡症例における受傷機転別の入院日数別の症例分布

n = 14,851

受傷機転

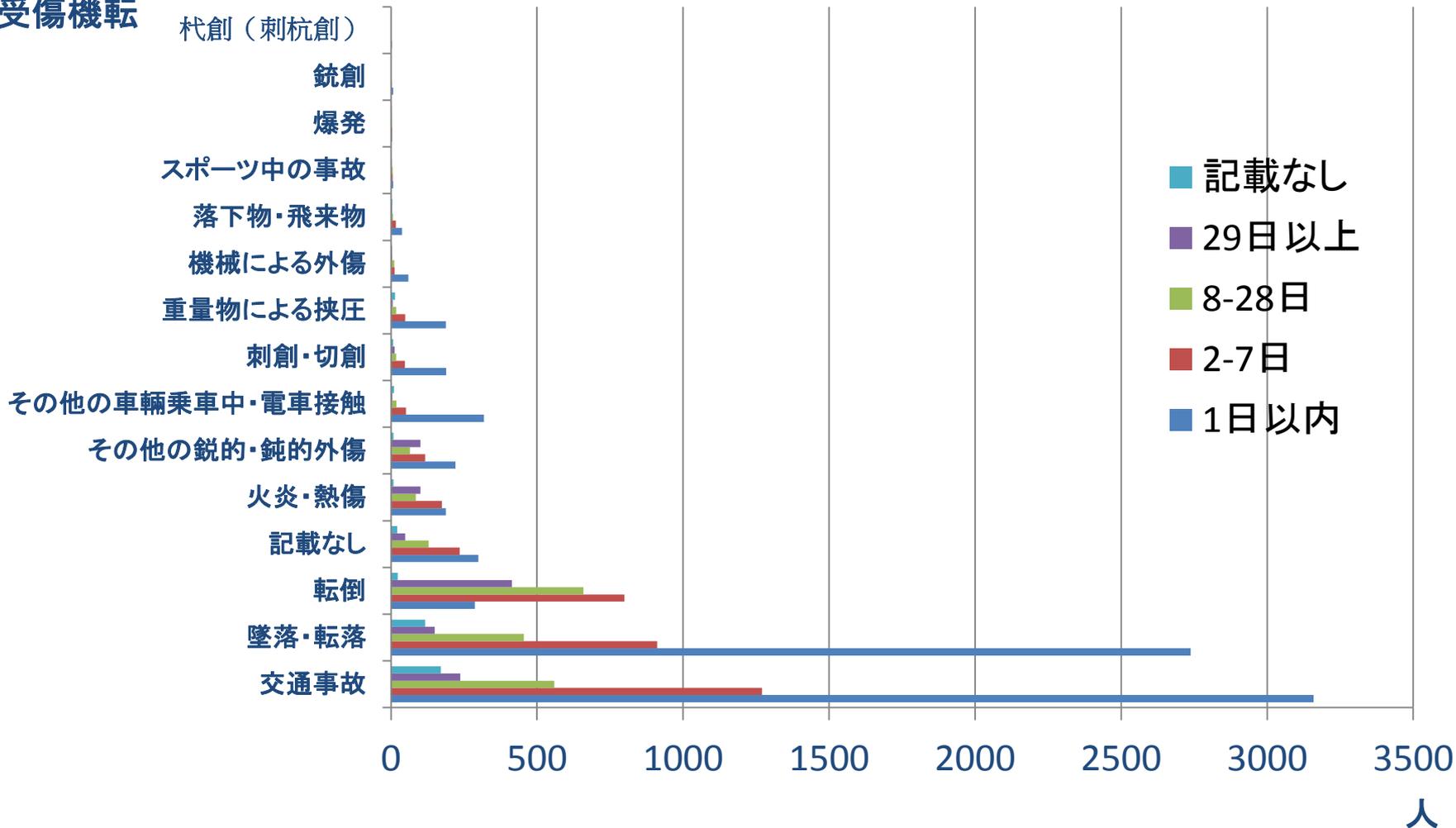


Figure
12

受傷機転別の入院日数別の症例分布 n = 170,666

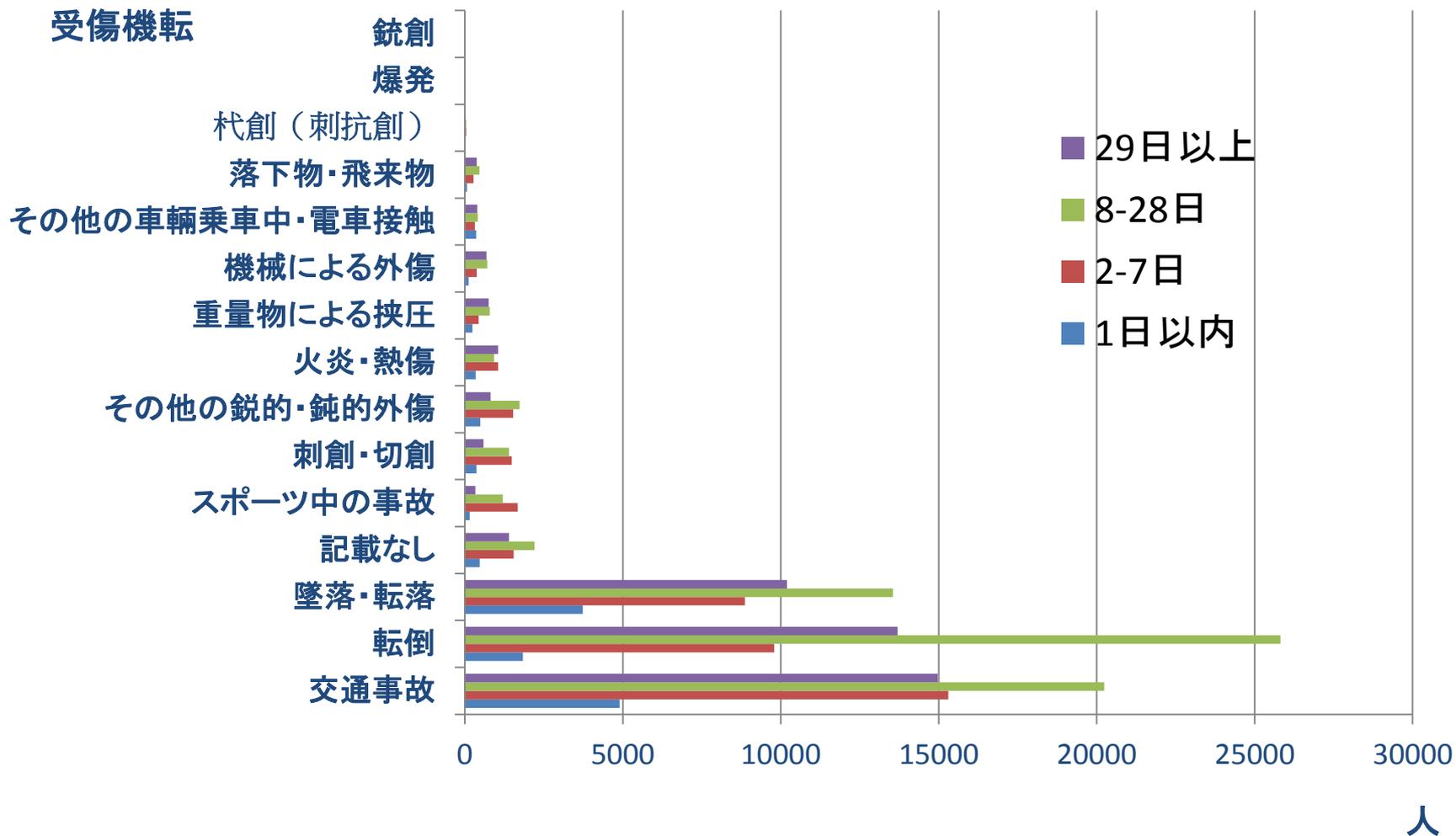


Table
12

受傷機転別の入院日数別の症例分布 n = 170,666

	交通事故	転倒	墜落・転落	記載なし	スポーツ 中の事故	刺創・切創	その他の 鋭的・鈍的 損傷	火炎・熱傷
1日以内	4903	1834	3730	474	158	369	492	341
2-7日	15299	9795	8865	1548	1675	1484	1525	1052
8-28日	20235	25819	13551	2208	1204	1397	1733	930
29日以上	14967	13696	10200	1398	338	589	817	1059
計	55404	51144	36346	5628	3375	3839	4567	3382

	重量物 による狭圧	機械による 外傷	その他の車 輛乗車中・ 電車接触	落下物・ 飛来物	杵創 (刺抗創)	爆発	銃創	計
1日以内	240	123	358	72	9	3	8	13114
2-7日	436	380	317	275	45	17	8	42721
8-28日	792	713	415	460	45	17	5	69524
29日以上	756	686	392	379	9	13	8	45307
計	2224	1902	1482	1186	108	50	29	170666

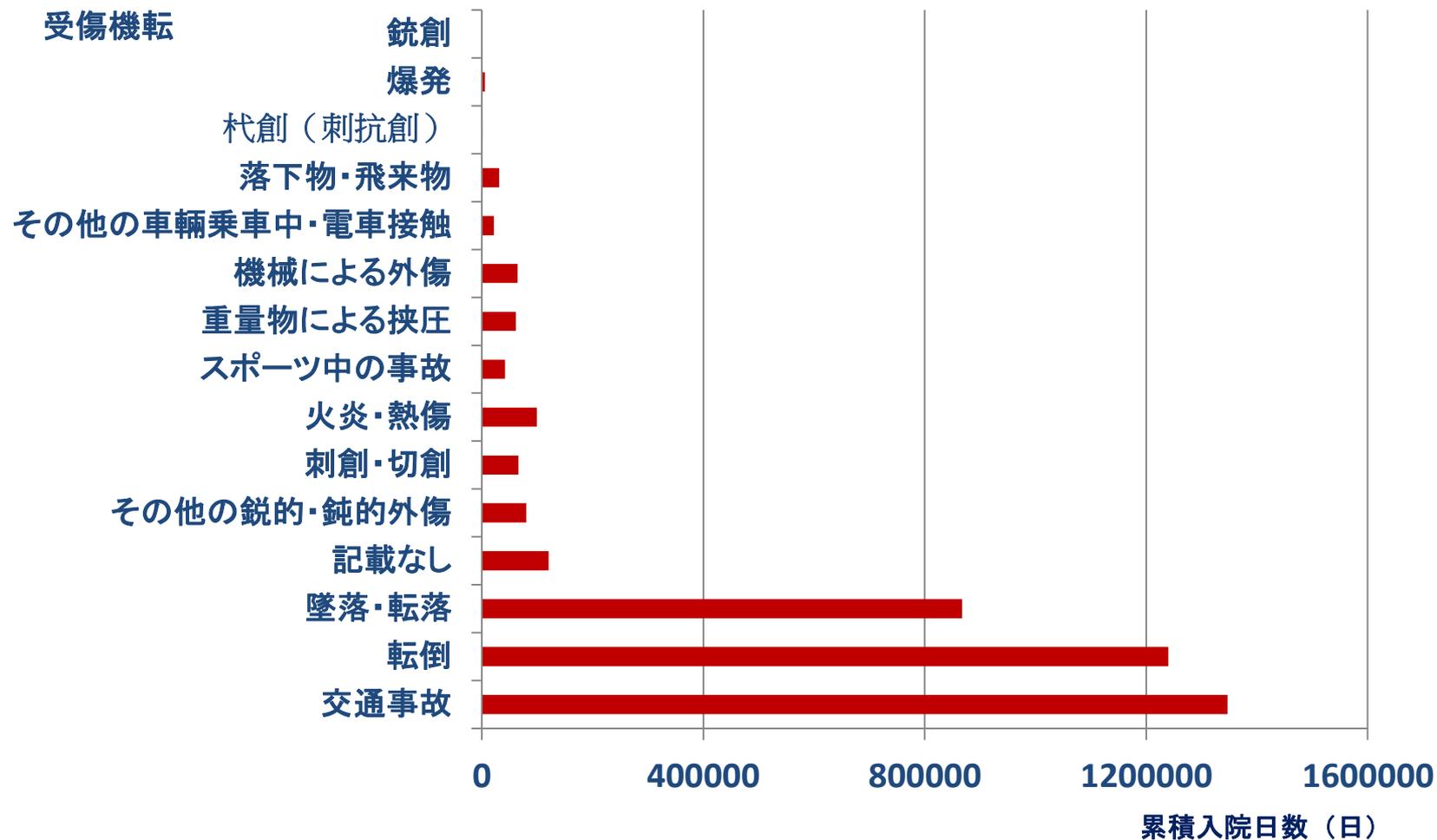
Figure
13A**受傷機転別の累積入院日数** n = 170,666 総入院日数 4,049,382日

Figure
13B

受傷機転別の平均入院日数 n = 170,666

受傷機転

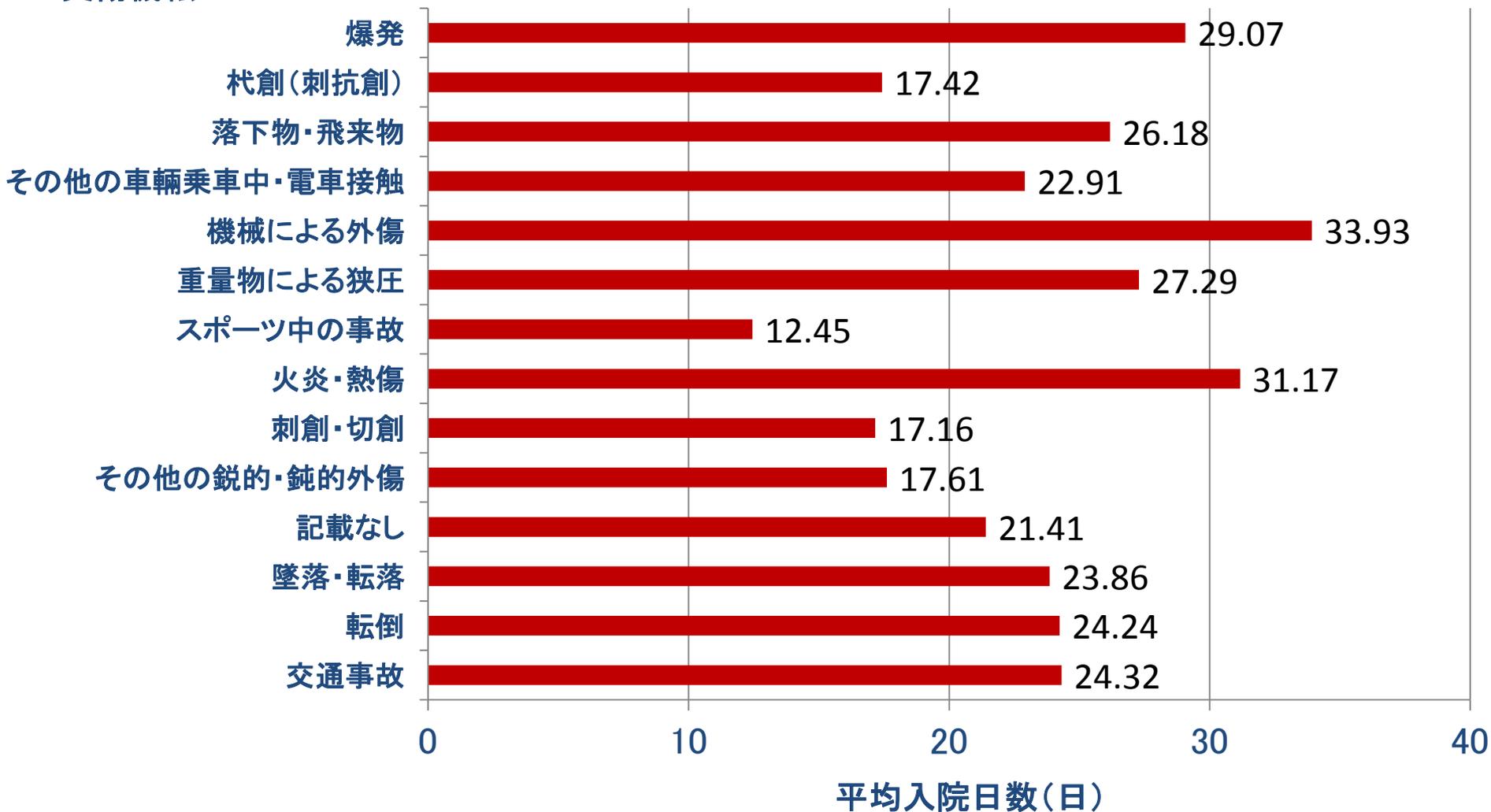


Table
13

受傷機転別の症例数、累積入院日数、平均入院日数 n = 170,666

受傷機転	症例数／%		累積入院日数	平均入院日数
交通事故	55,404	32.46	1,347,162	24.32
転倒	51,144	29.97	1,239,710	24.24
墜落・転落	36,346	21.30	867,315	23.86
記載なし	5,628	3.30	120,522	21.41
その他の鋭的・鈍的外傷	4,567	2.68	80,430	17.61
刺創・切創	3,839	2.25	65,864	17.16
火炎・熱傷	3,382	1.98	99,535	31.17
スポーツ中の事故	3,375	1.98	42,028	12.45
重量物による狭圧	2,244	1.30	61,795	27.79
機械による外傷	1,902	1.11	64,530	33.93
その他の車輛乗車中・電車接触	1,482	0.87	21,929	22.91
落下物・飛来物	1,186	0.69	31,055	26.18
杵創(刺抗創)	108	0.06	1,313	17.42
爆発	50	0.03	5,447	29.07
銃創	29	0.02	747	25.76
計	170,666	100%	4,049,382	23.81

Figure
14

ISSカテゴリー別の症例数と割合

N= 183,033

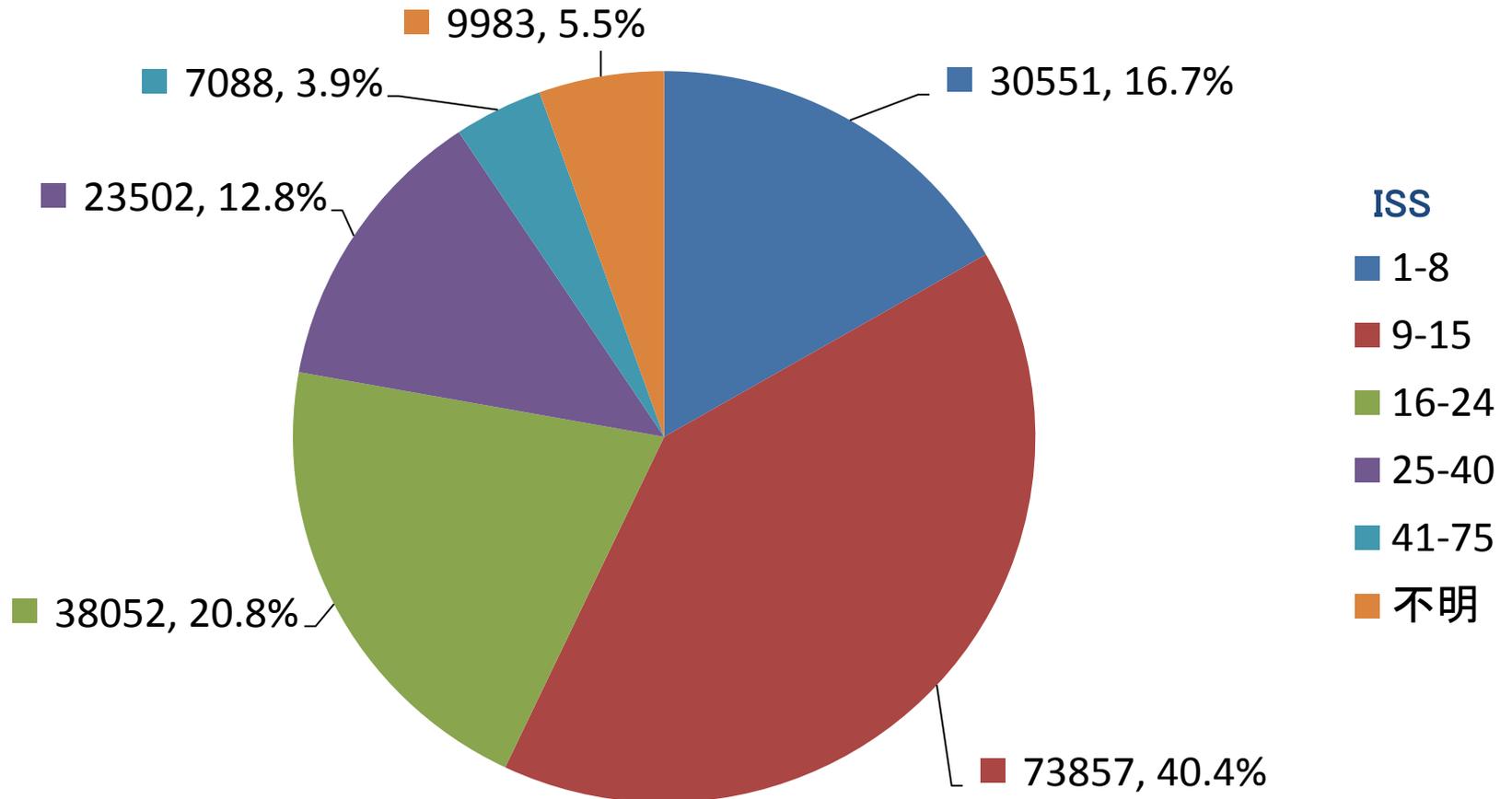


Figure
15

ISSカテゴリー別の症例数の年齢分布

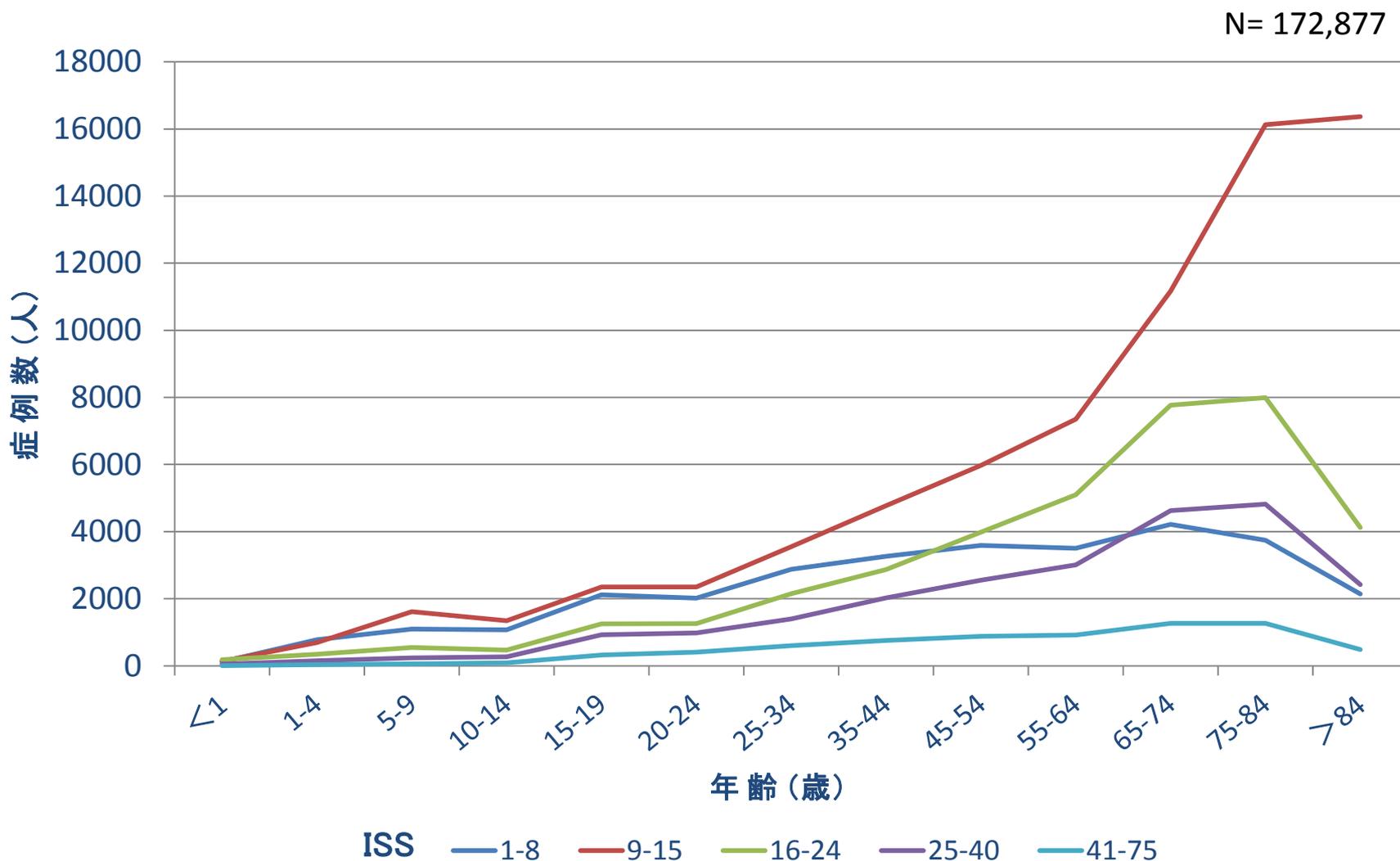


Table
15

ISSカテゴリ別の症例数の年齢分布

年齢 ISS	0	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-34	35-44	45-54	55-64	65-74	75-84	85-	不明	計
1-8	120	776	1092	1070	2117	2020	2876	3265	3590	3502	4217	3739	2143	24	30551
9-15	134	693	1615	1346	2350	2347	3550	4776	5974	7347	11168	16127	16366	64	73857
16-24	181	344	549	471	1249	1258	2146	2867	3981	5096	7765	7993	4124	28	38052
25-40	53	152	240	270	926	981	1401	2026	2550	3007	4626	4819	2422	29	23502
41-75	3	31	57	89	319	405	603	752	877	914	1266	1263	481	28	7088
不明	68	287	282	244	444	530	790	909	1120	1129	1588	1562	948	82	9983
計	559	2283	3835	3490	7405	7541	11366	14595	18092	20995	30630	35503	26484	255	183033

Figure
16A

ISSカテゴリー別の死亡数と割合

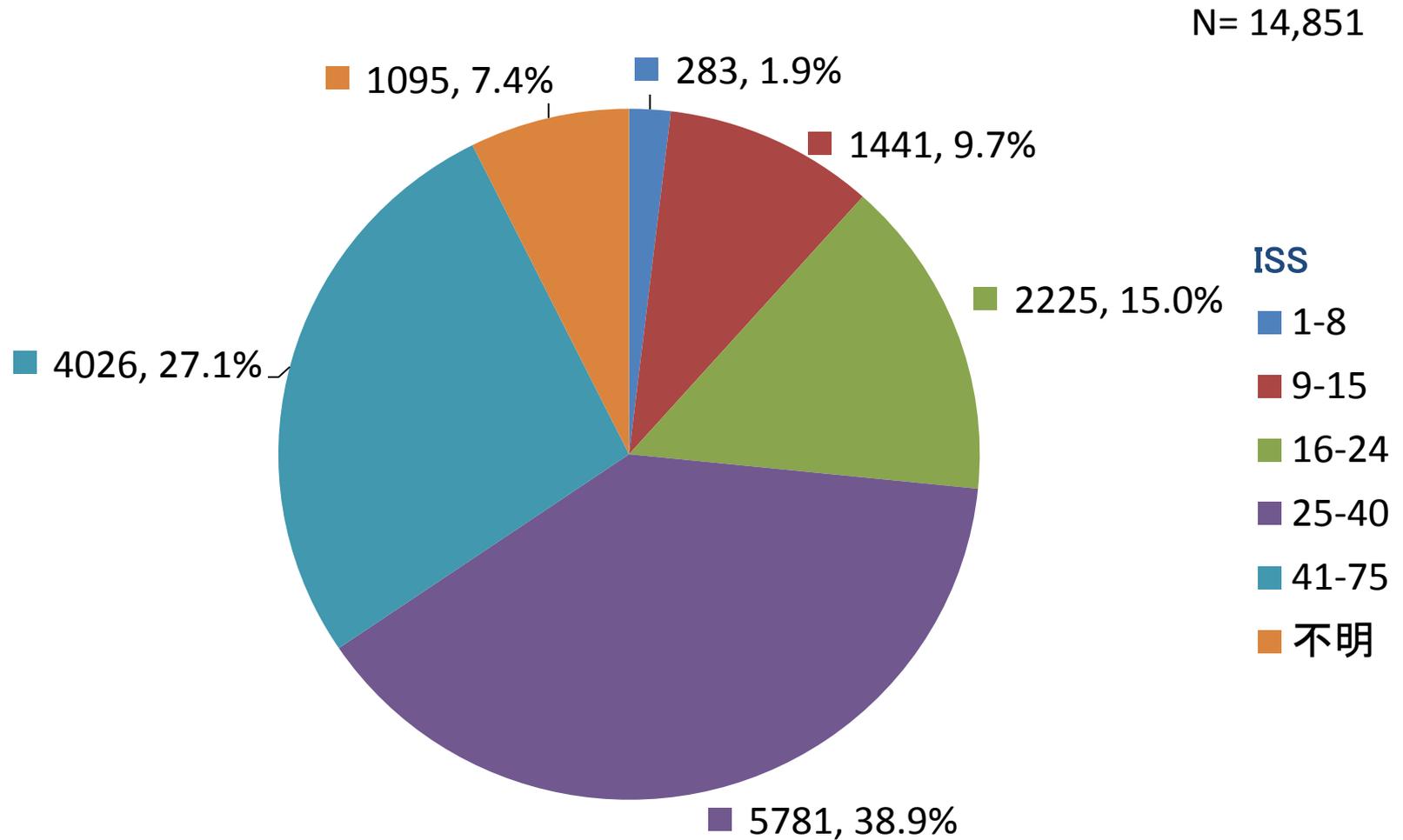


Figure
16B

ISSカテゴリー別の死亡率

N= 14,851

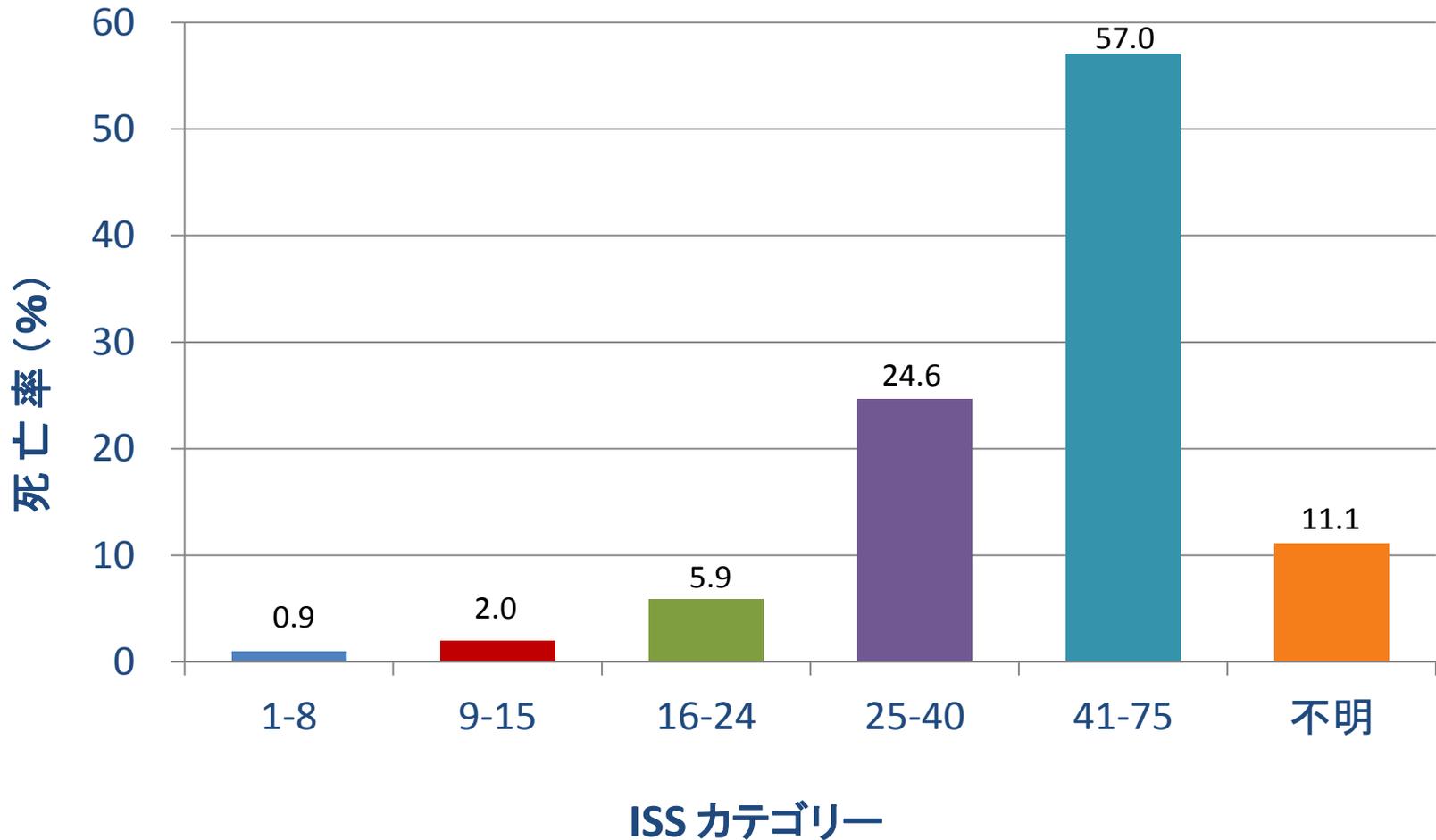


Figure
17

ISSカテゴリー別死亡数の年齢分布

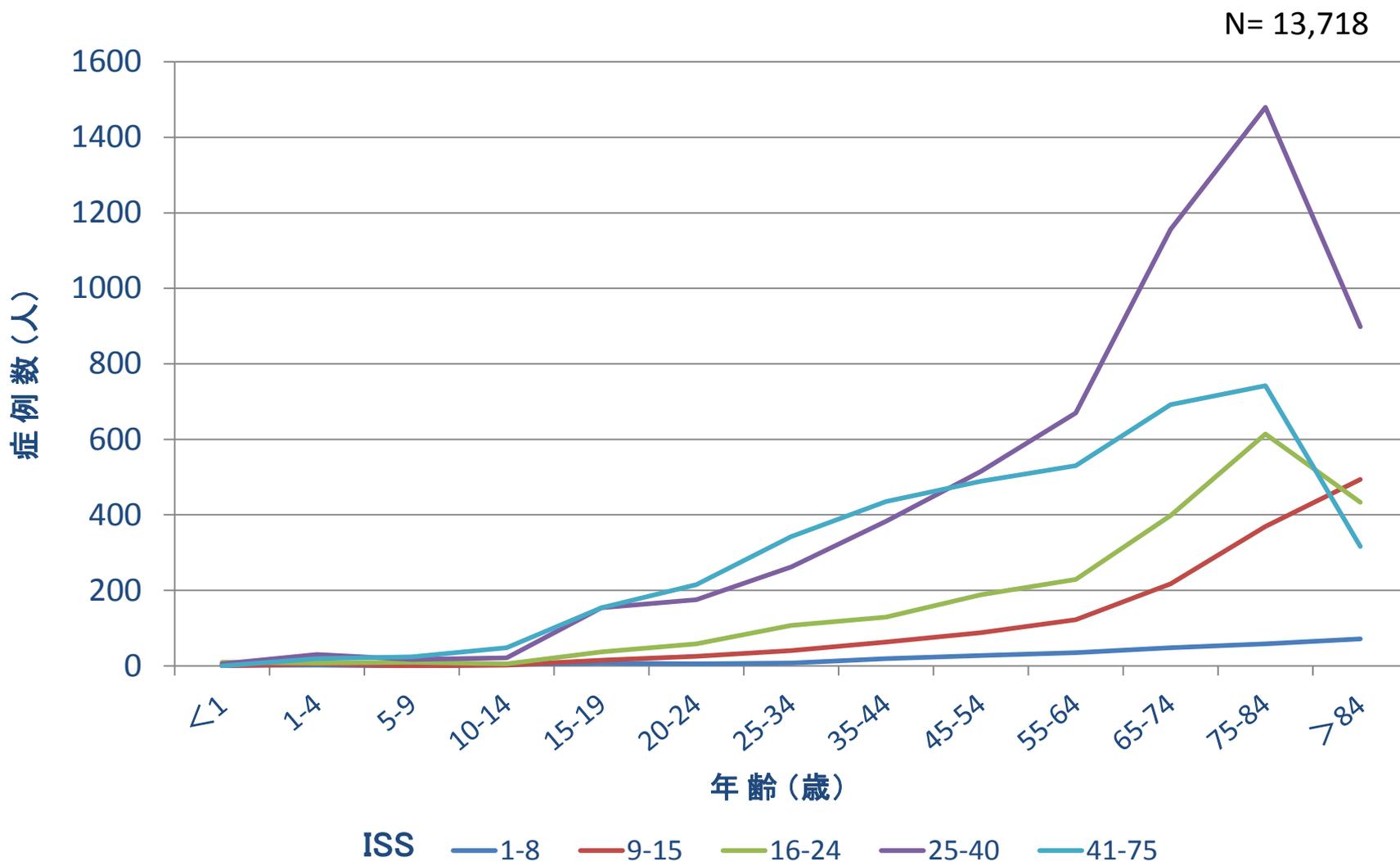


Table
17

ISSカテゴリー別死亡数の年齢分布

年齢 ISS	0	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-34	35-44	45-54	55-64	65-74	75-84	85-	不明	計
1-8	1	2	0	3	7	5	7	19	27	35	48	58	71	0	283
9-15	0	5	0	2	15	25	40	63	88	122	217	369	494	1	1441
16-24	9	7	9	5	37	58	107	129	188	229	398	614	433	2	2225
25-40	5	30	17	21	154	175	262	383	515	670	1156	1480	898	15	5781
41-75	0	19	24	48	154	215	342	435	489	530	692	742	316	20	4026
不明	3	2	3	6	37	65	97	111	158	132	180	203	91	7	1095
計	18	65	53	85	404	543	855	1140	1465	1718	2691	3466	2303	45	14851

Figure
18

ISS 15以下の死亡数の性別年齢分布

N=99281

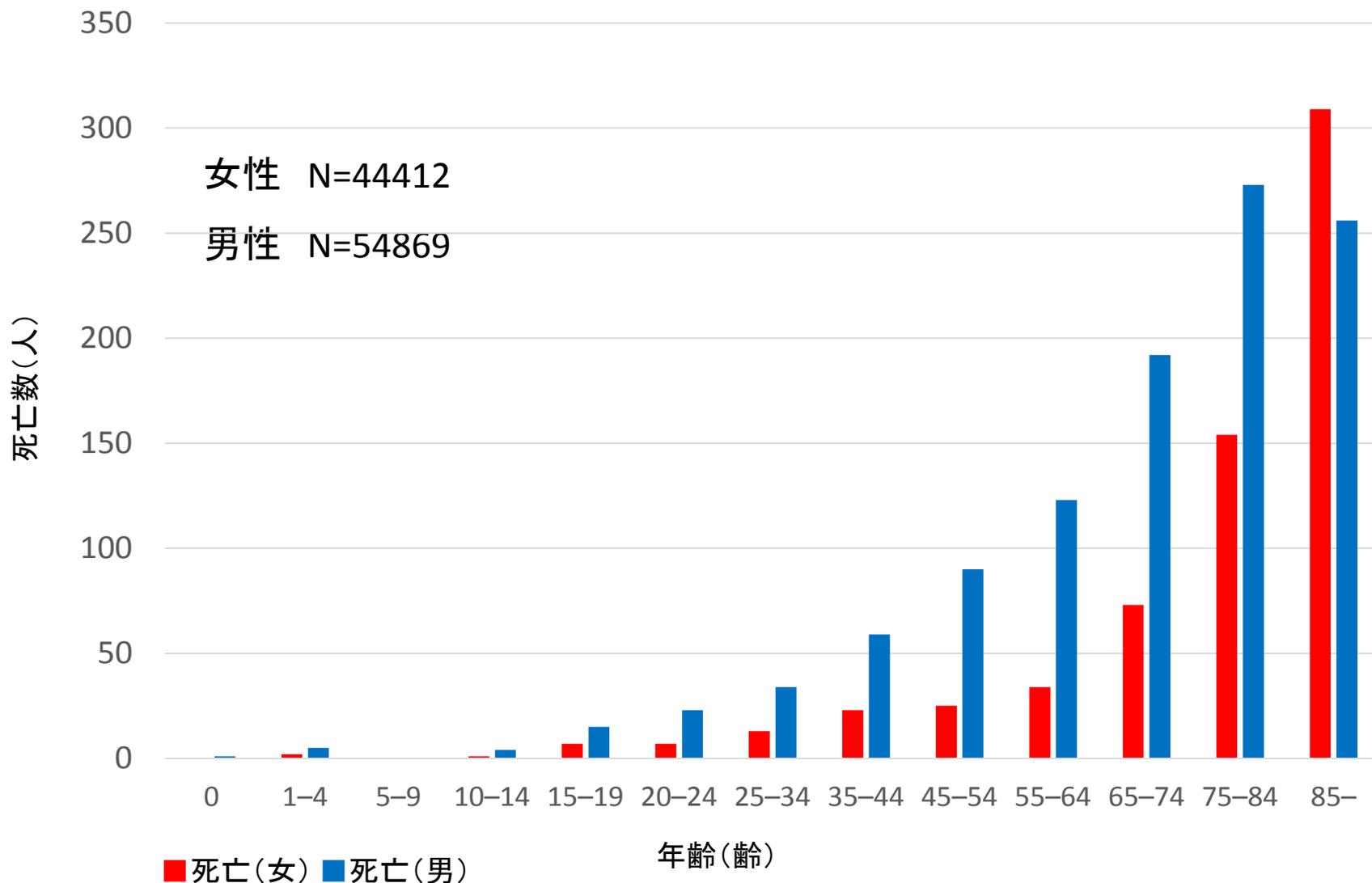


Figure
19

ISS 16以上の死亡数の性別年齢分布

N=66411

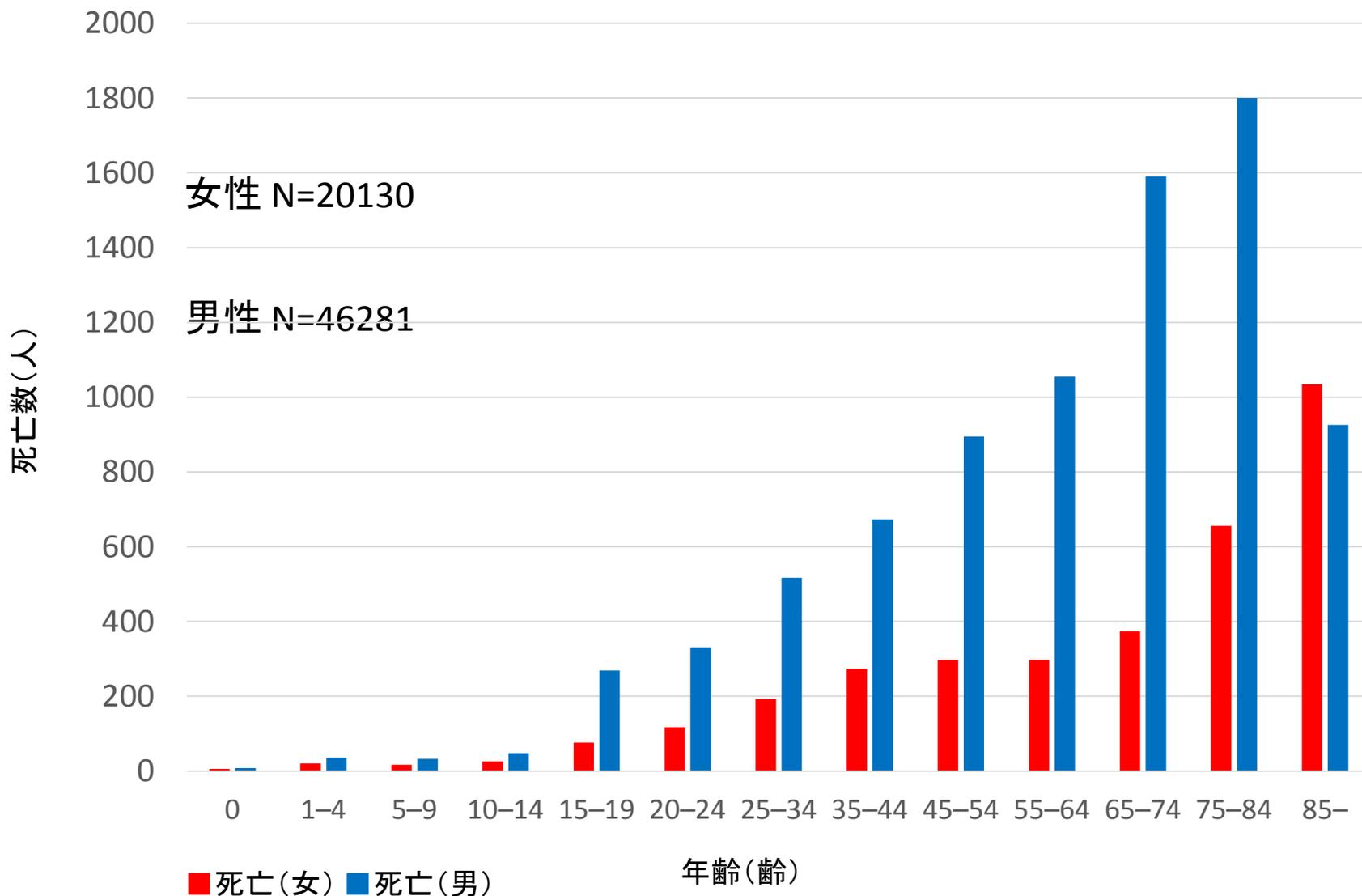
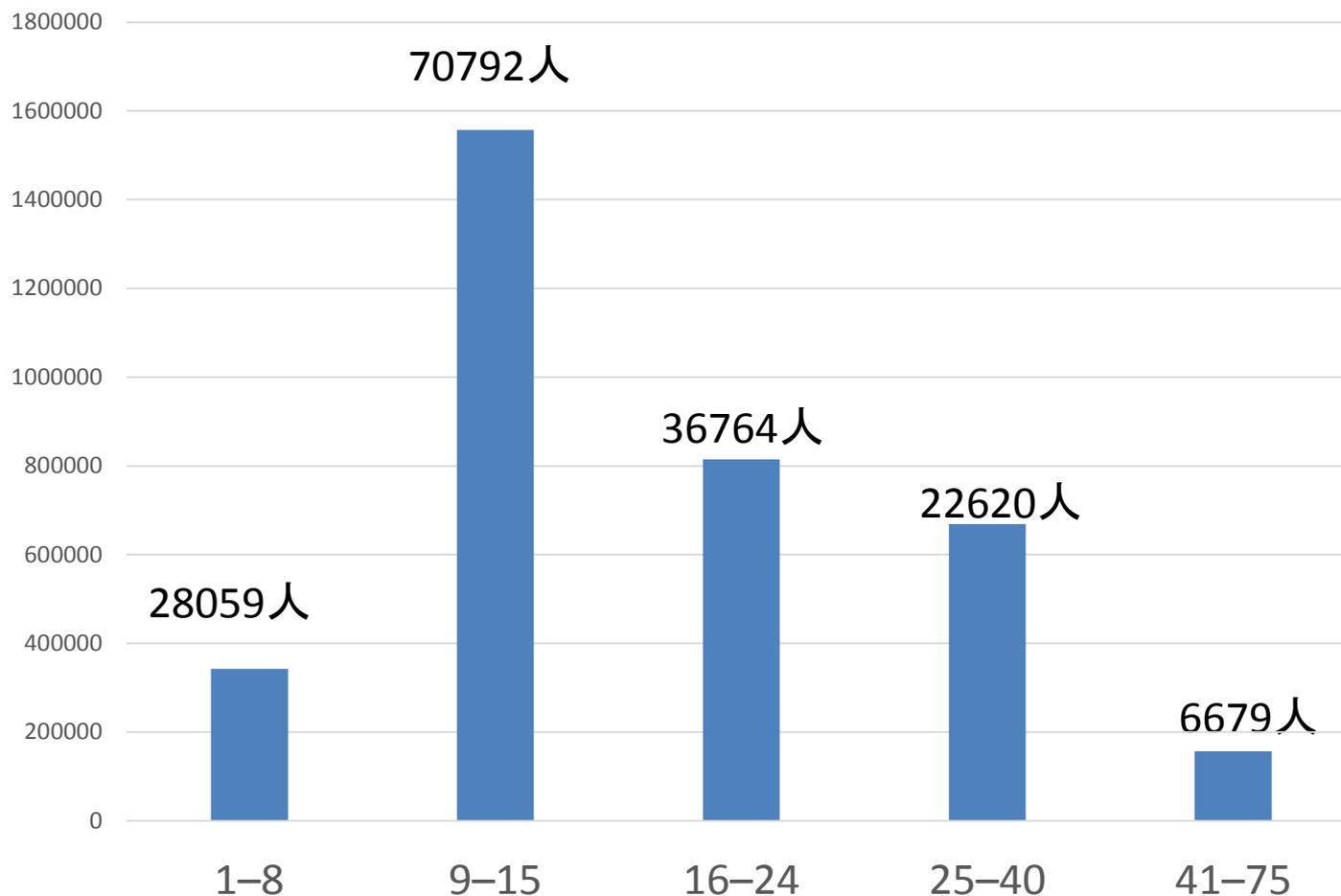


Figure
20A

ISS カテゴリ別の累積入院日数

N=164914

累積入院日数



入院期間<0 or >365は除外

Figure
20B

ISS カテゴリ別の平均入院日数

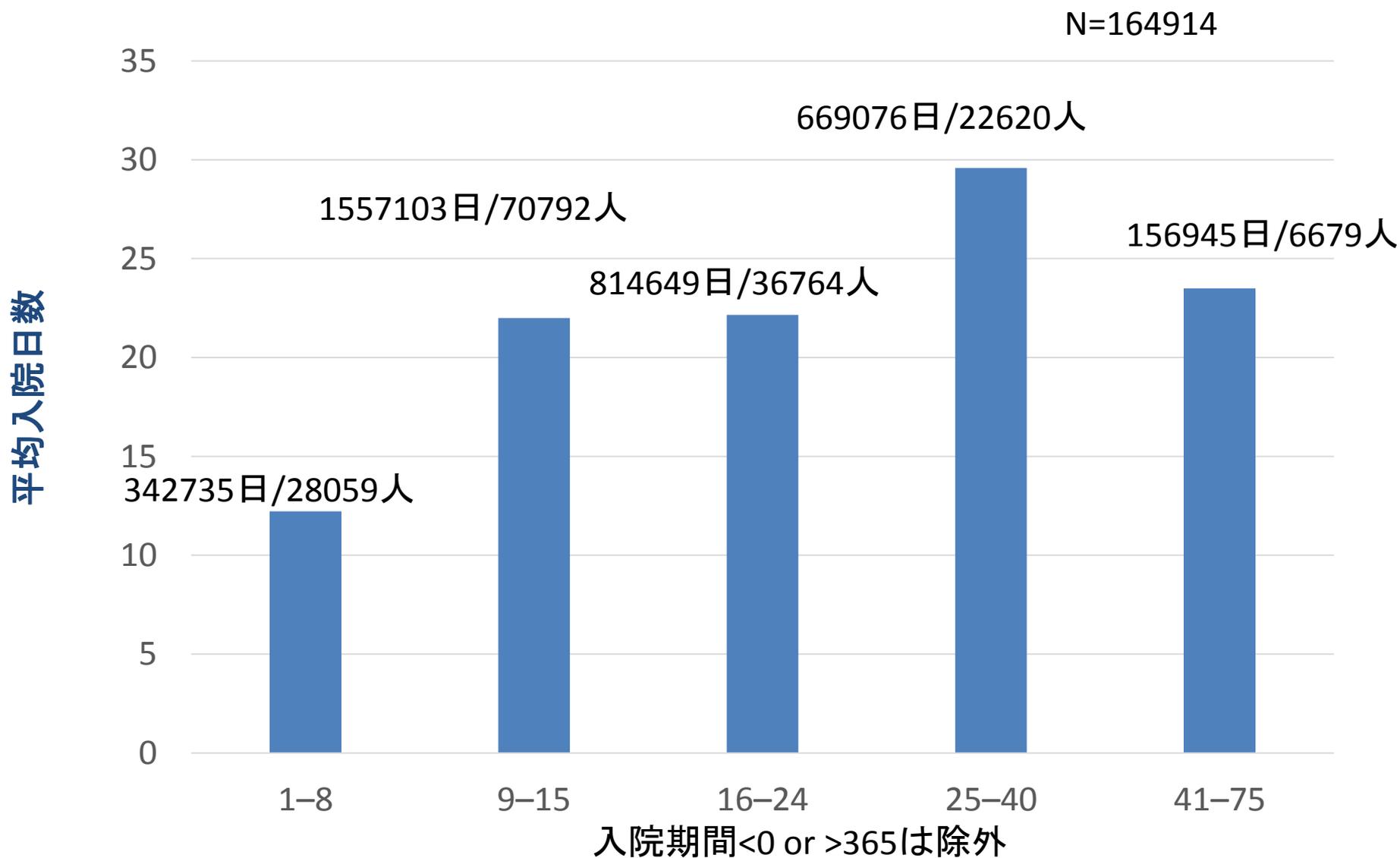


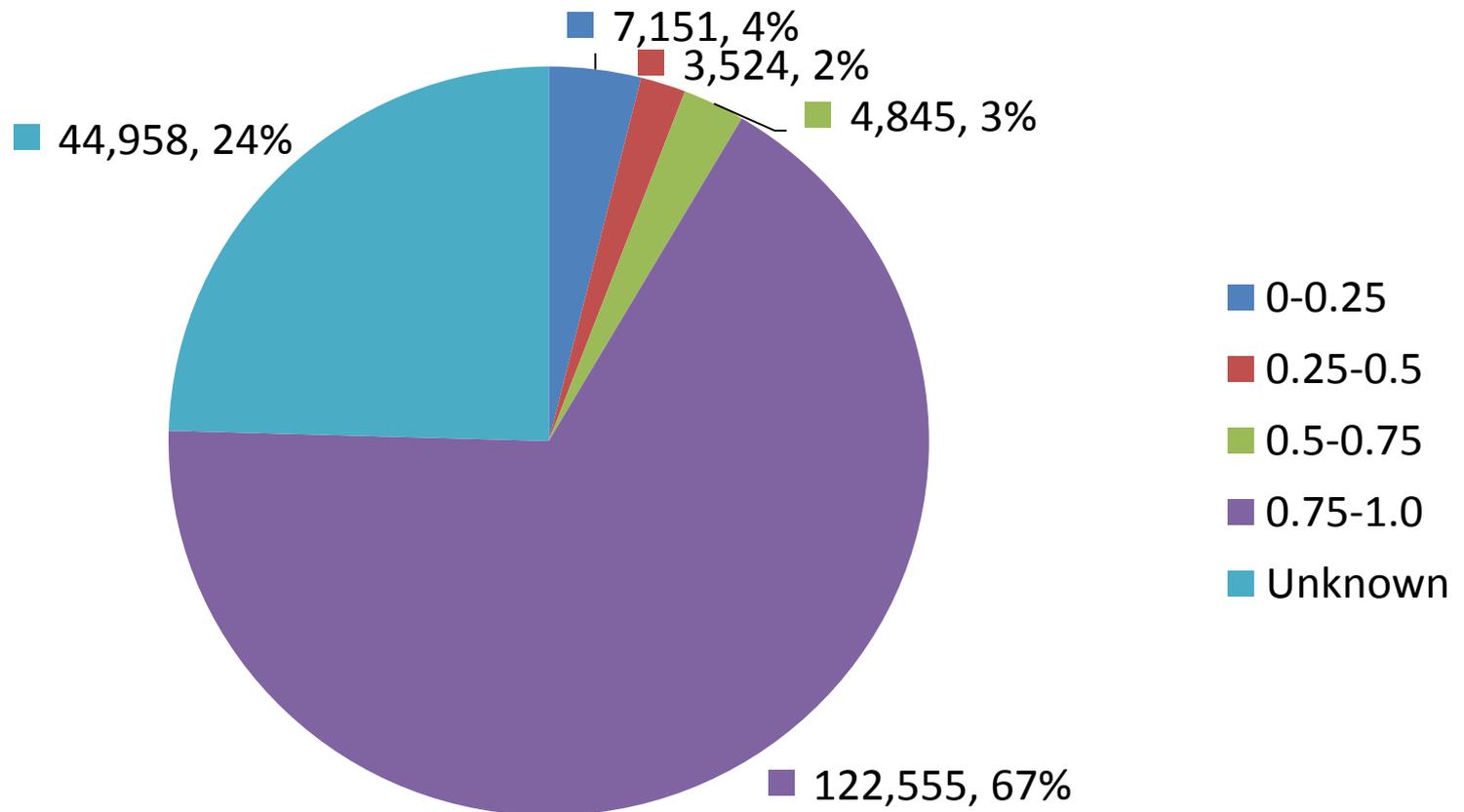
Figure
21**Probability of survival (Ps) カテゴリー別の症例数の割合**

Figure
22A

Probability of survival (Ps)カテゴリー別の死亡数の割合

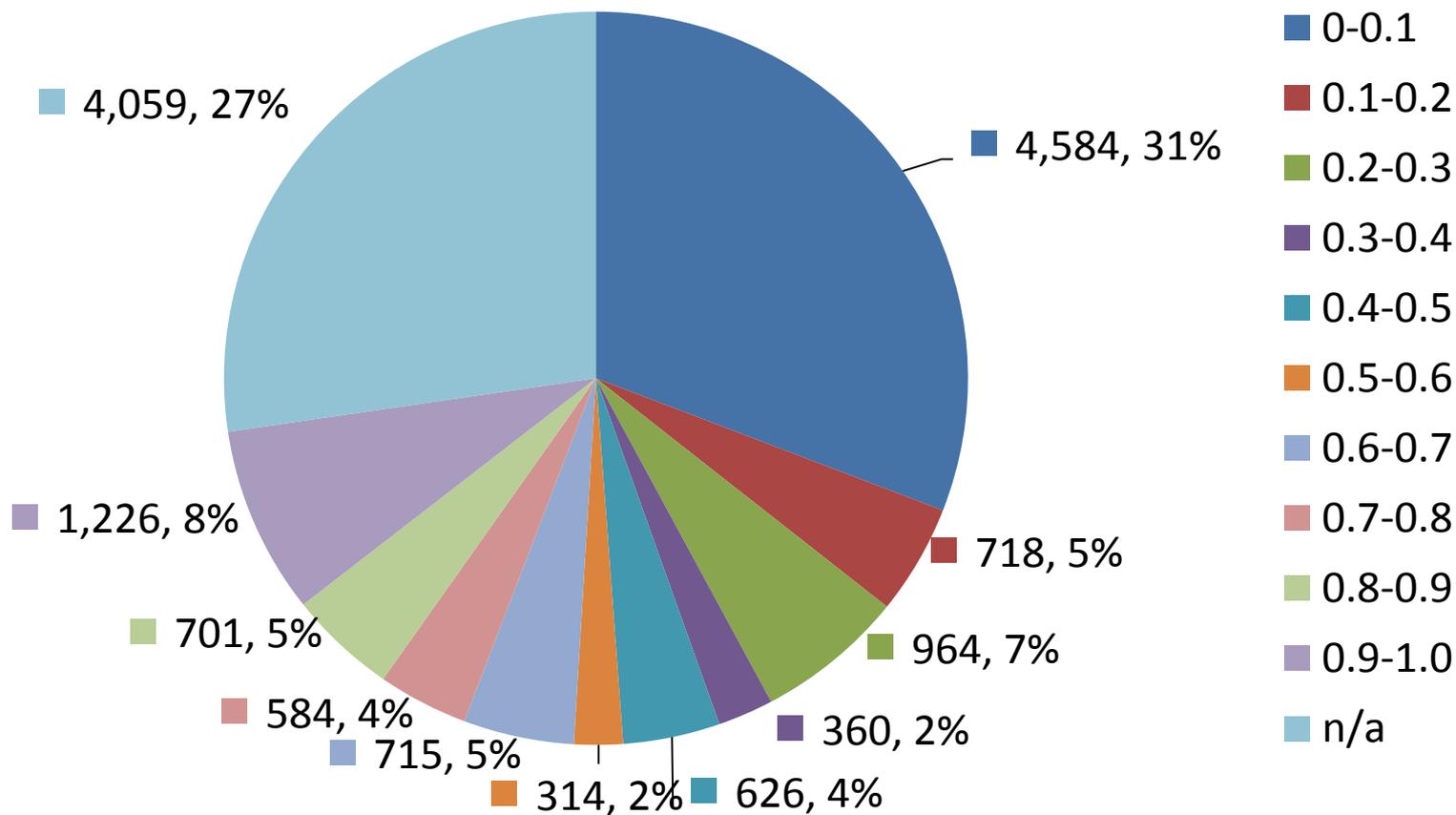


Figure
22B

各Probability of survival (Ps) カテゴリーの死亡率

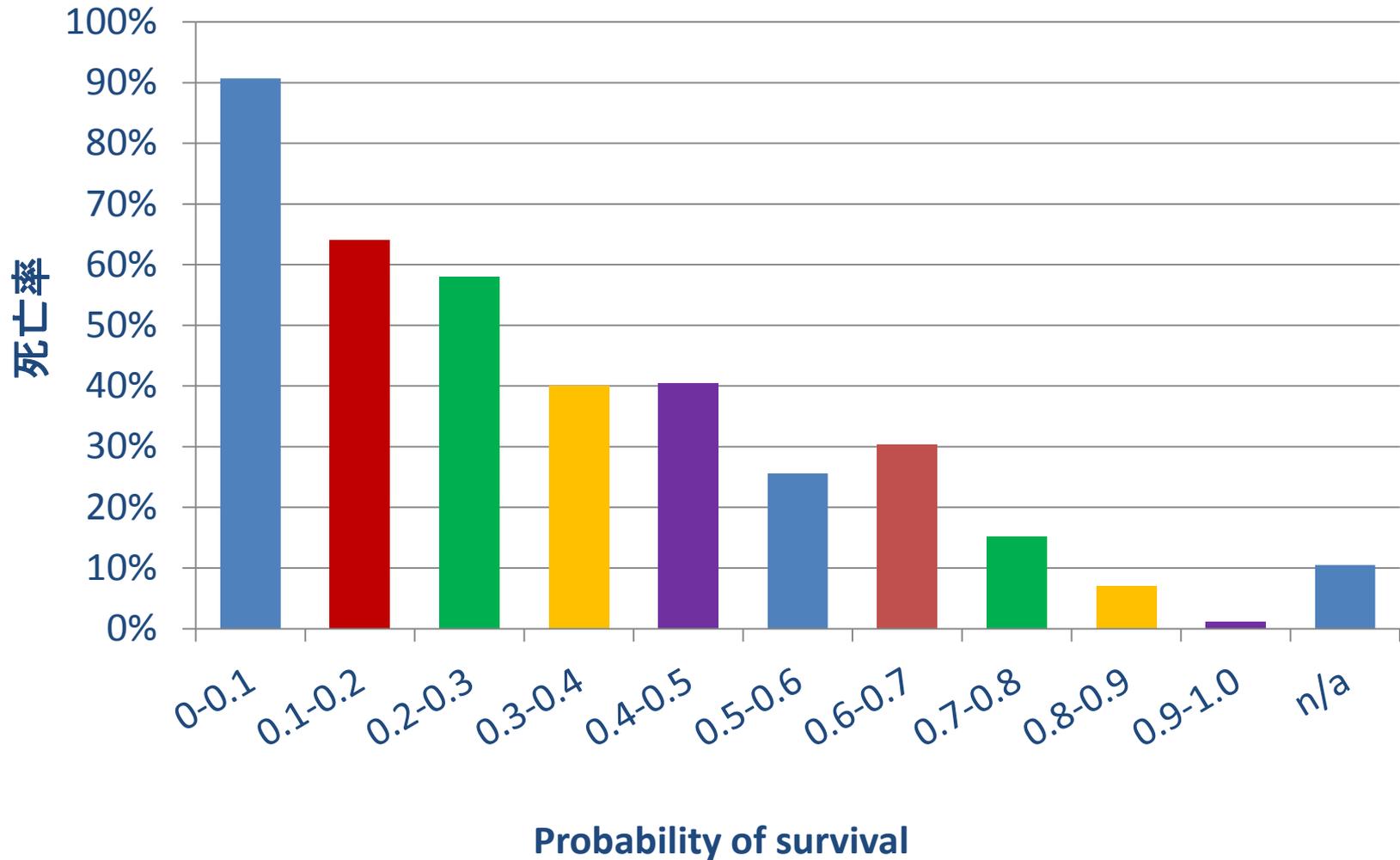


Figure
23

交通事故患者における種類別および年齢別の患者数

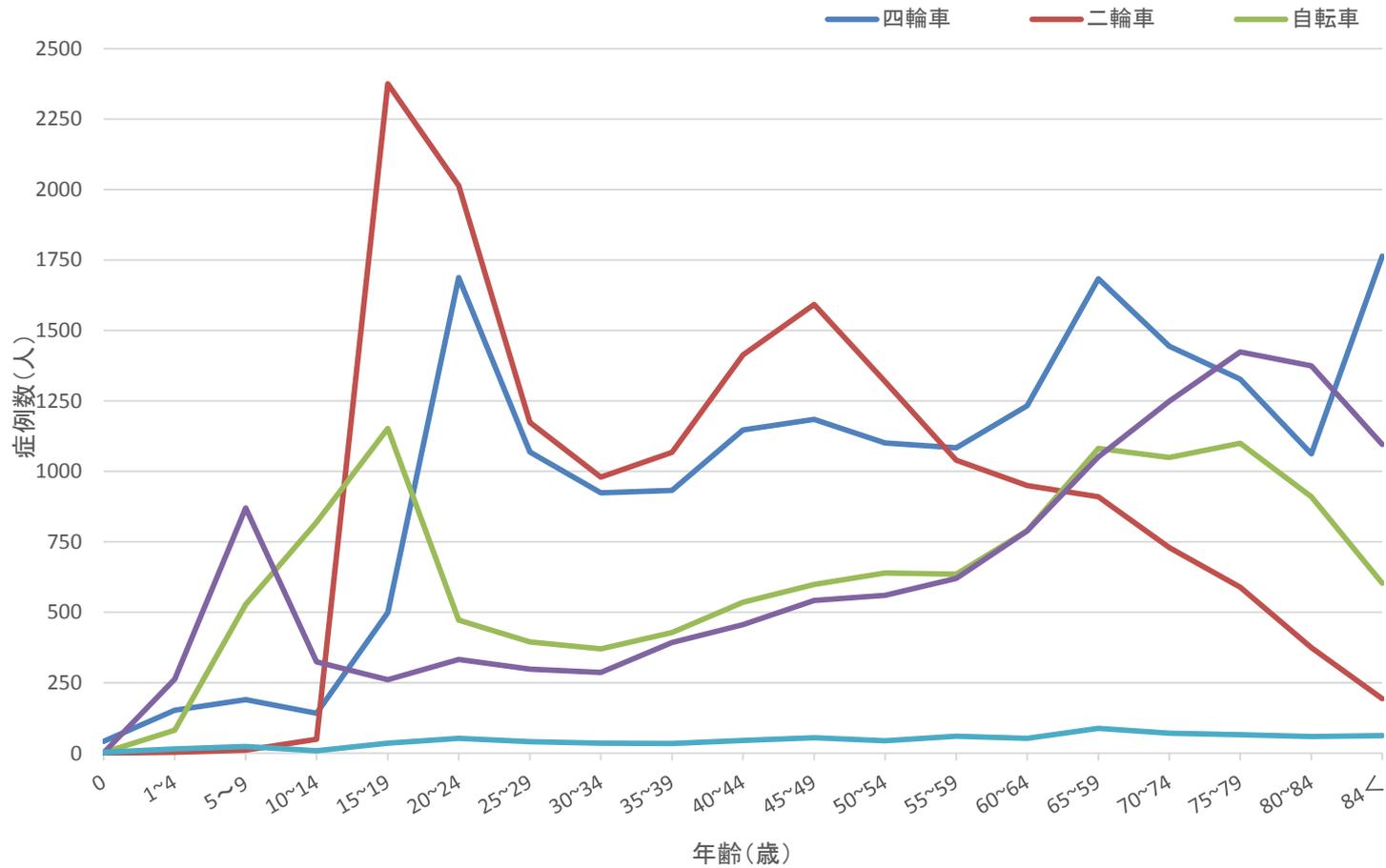


Figure
24

四輪車事故症例数の運転者・乗客別年齢分布

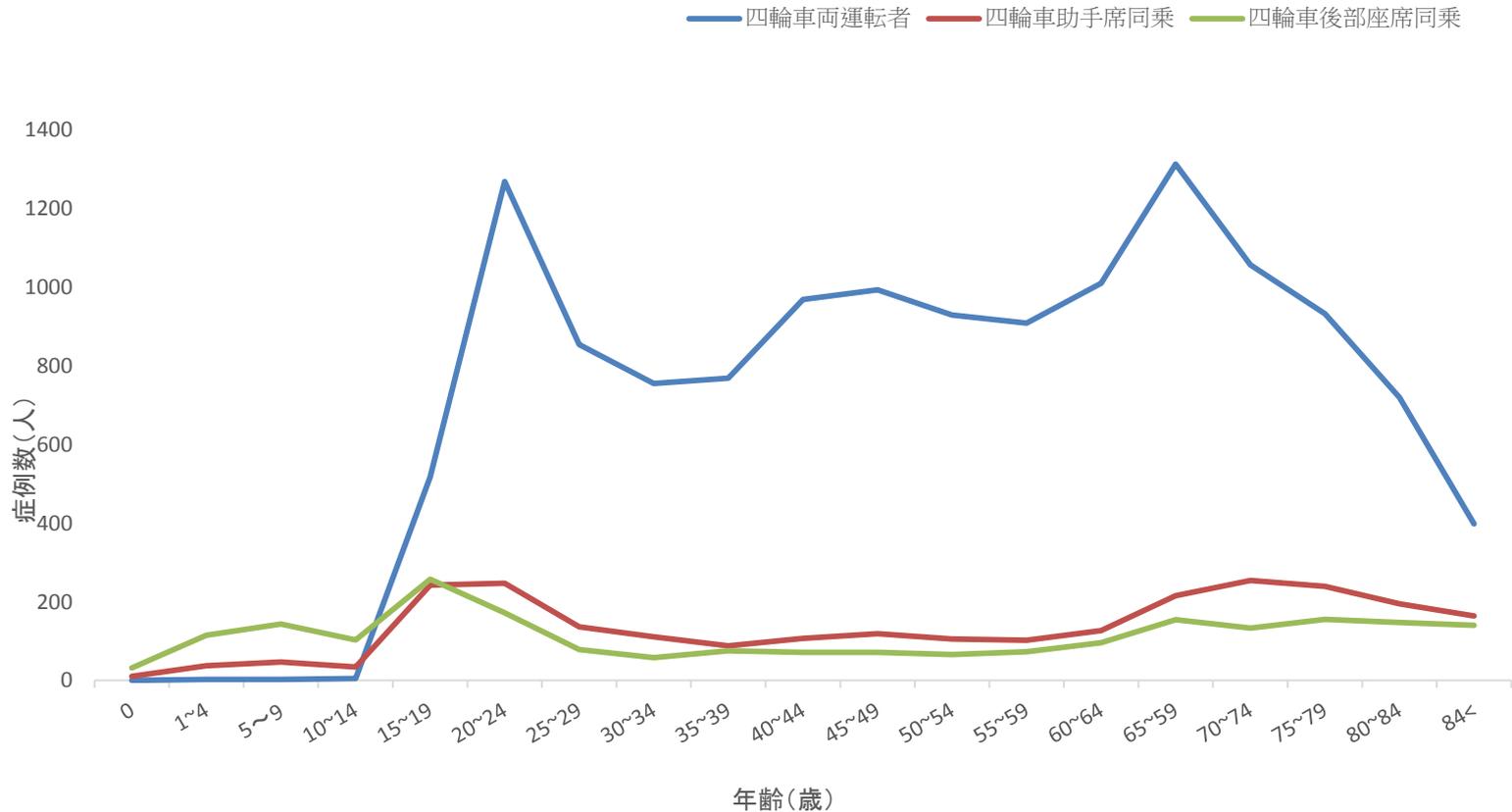


Figure
25

四輪者事故(運転者)症例数の性別年齢分布

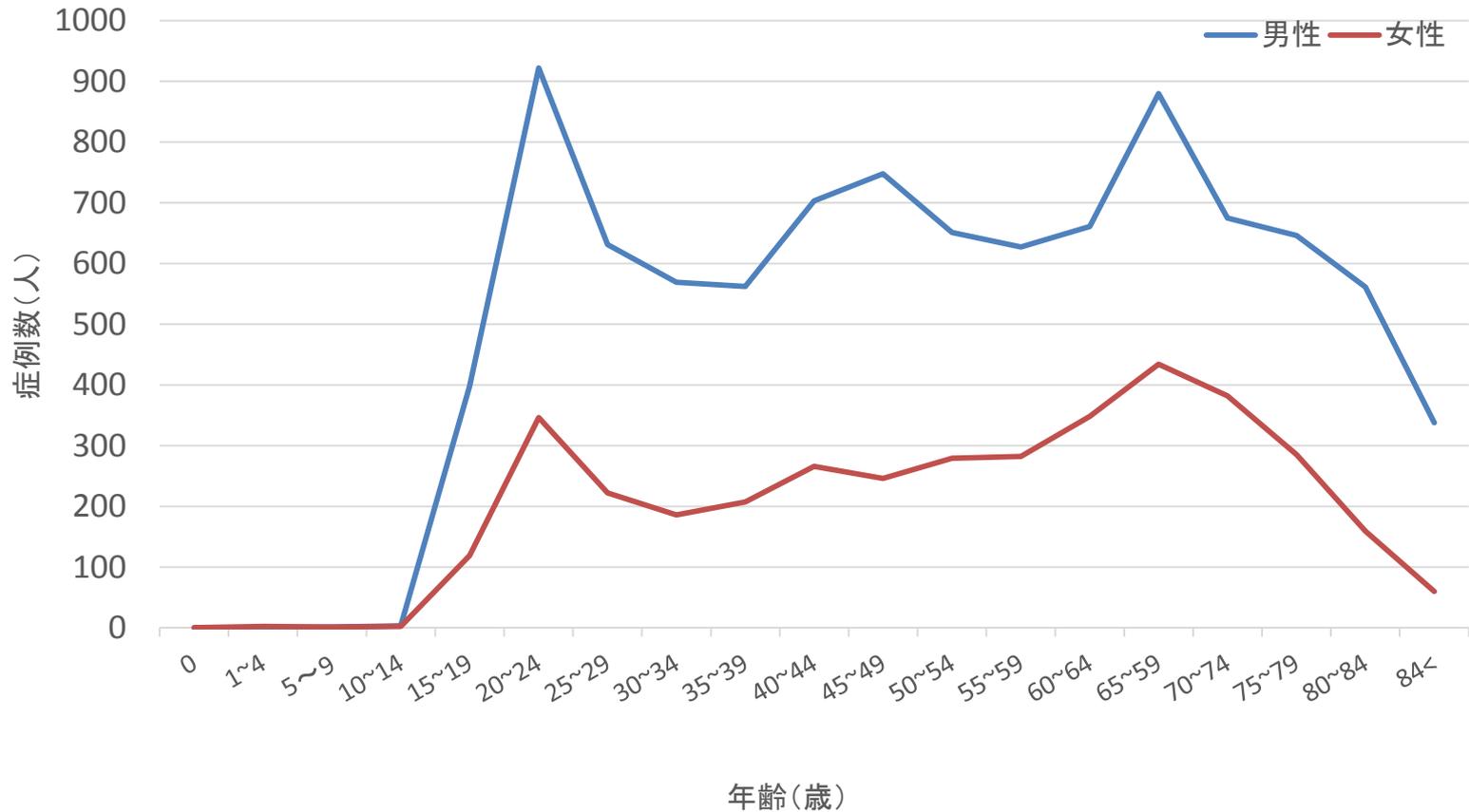


Figure
26

四輪者事故(助手席)症例数の性別年齢分布

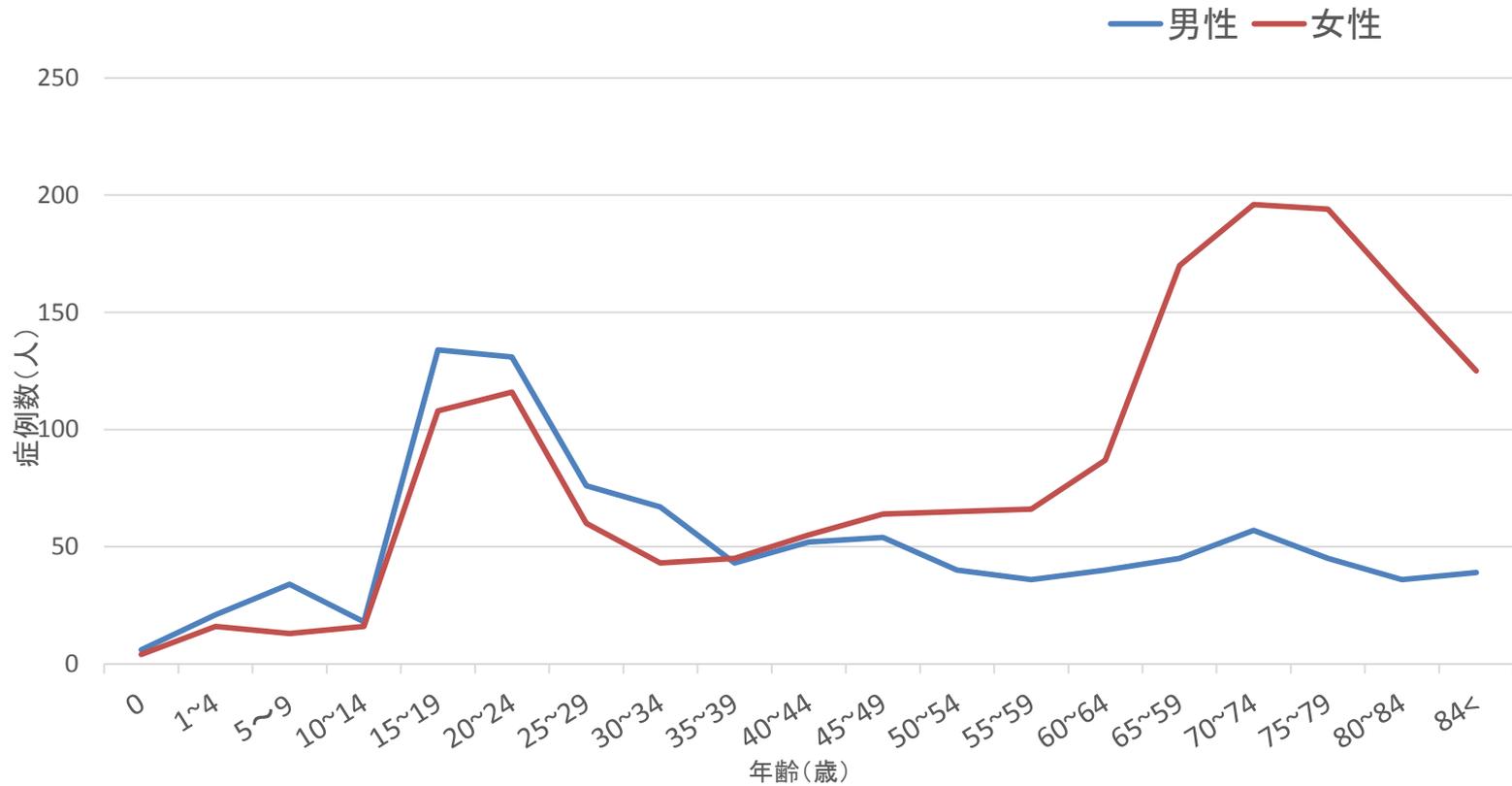


Figure 27

四輪車における運転手の年齢別死亡者数および死亡率

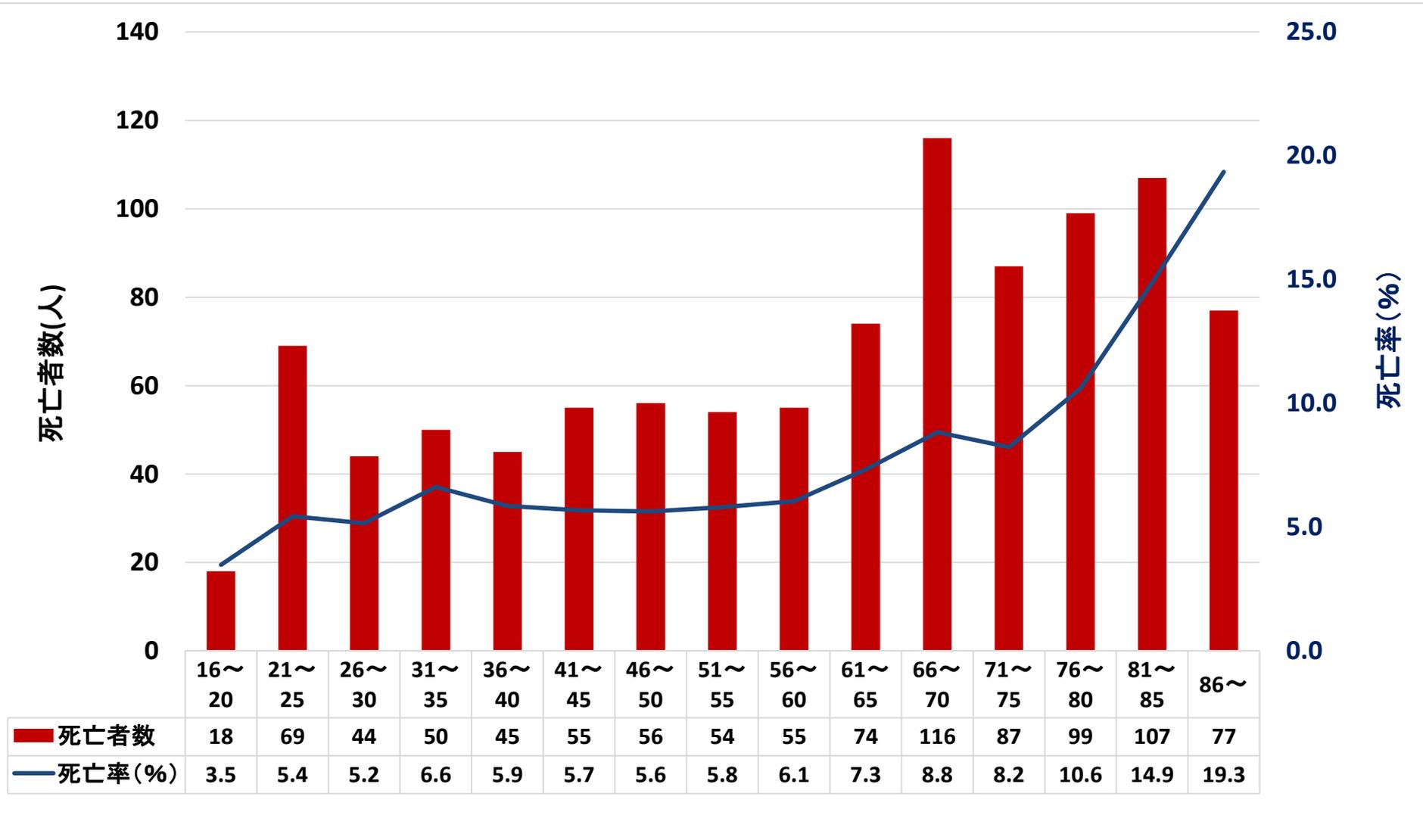


Figure
28

性別および年齢別運転死亡者数

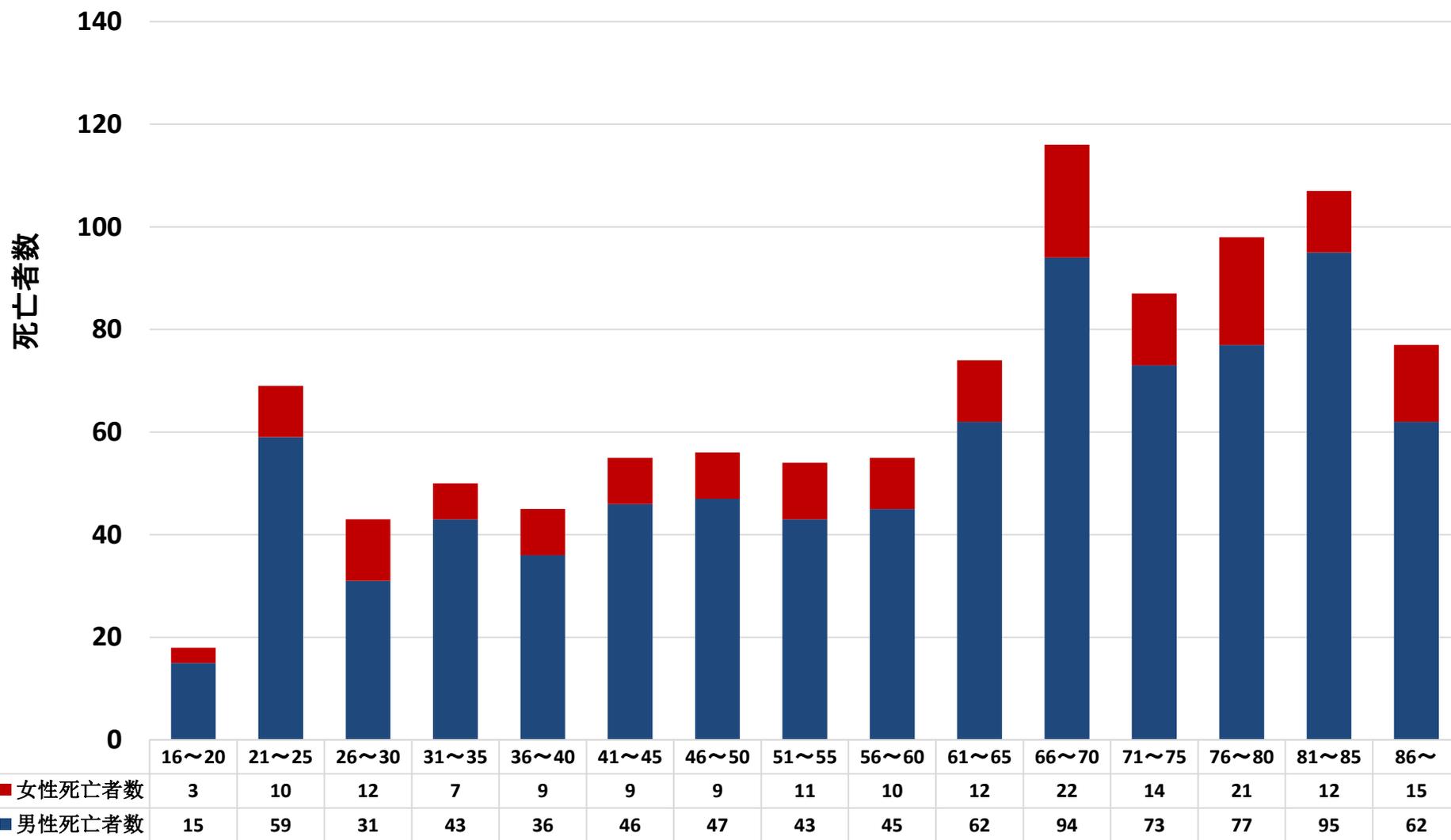


Figure
29

外傷原因別の登録患者比率

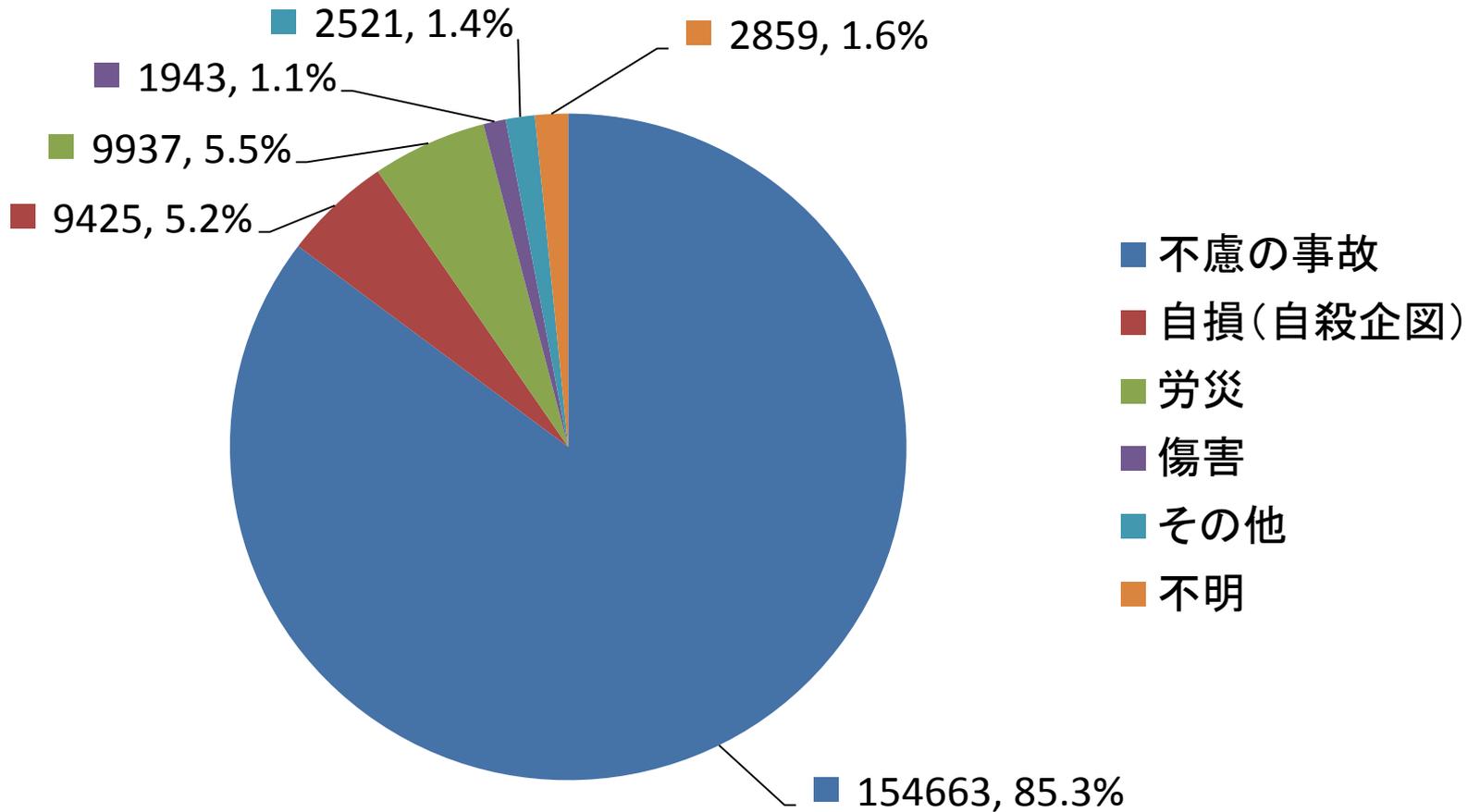


Figure
30

外傷原因別の死亡者比率

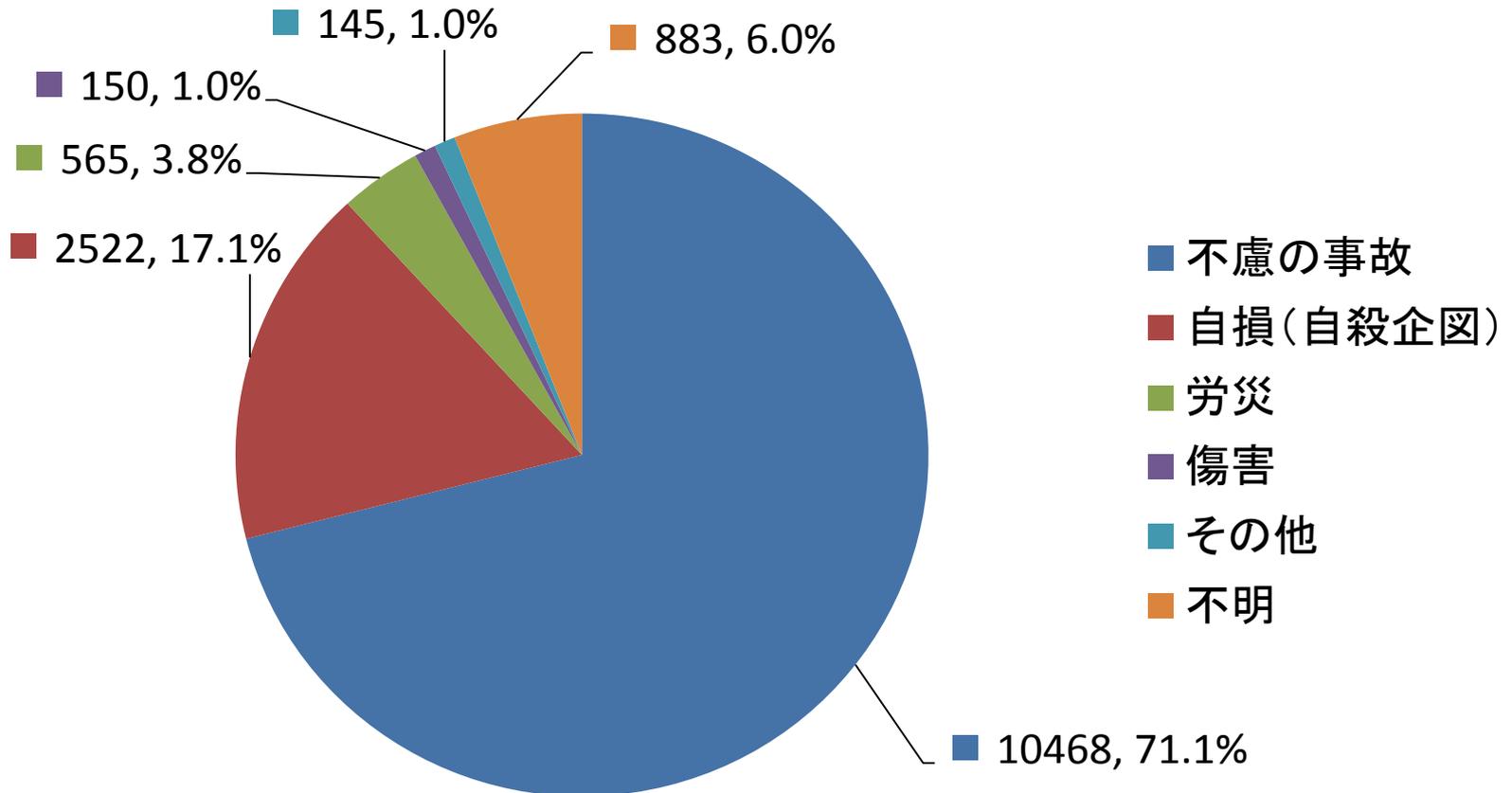


Figure
31

不慮の事故および労災による外傷患者の性別比率

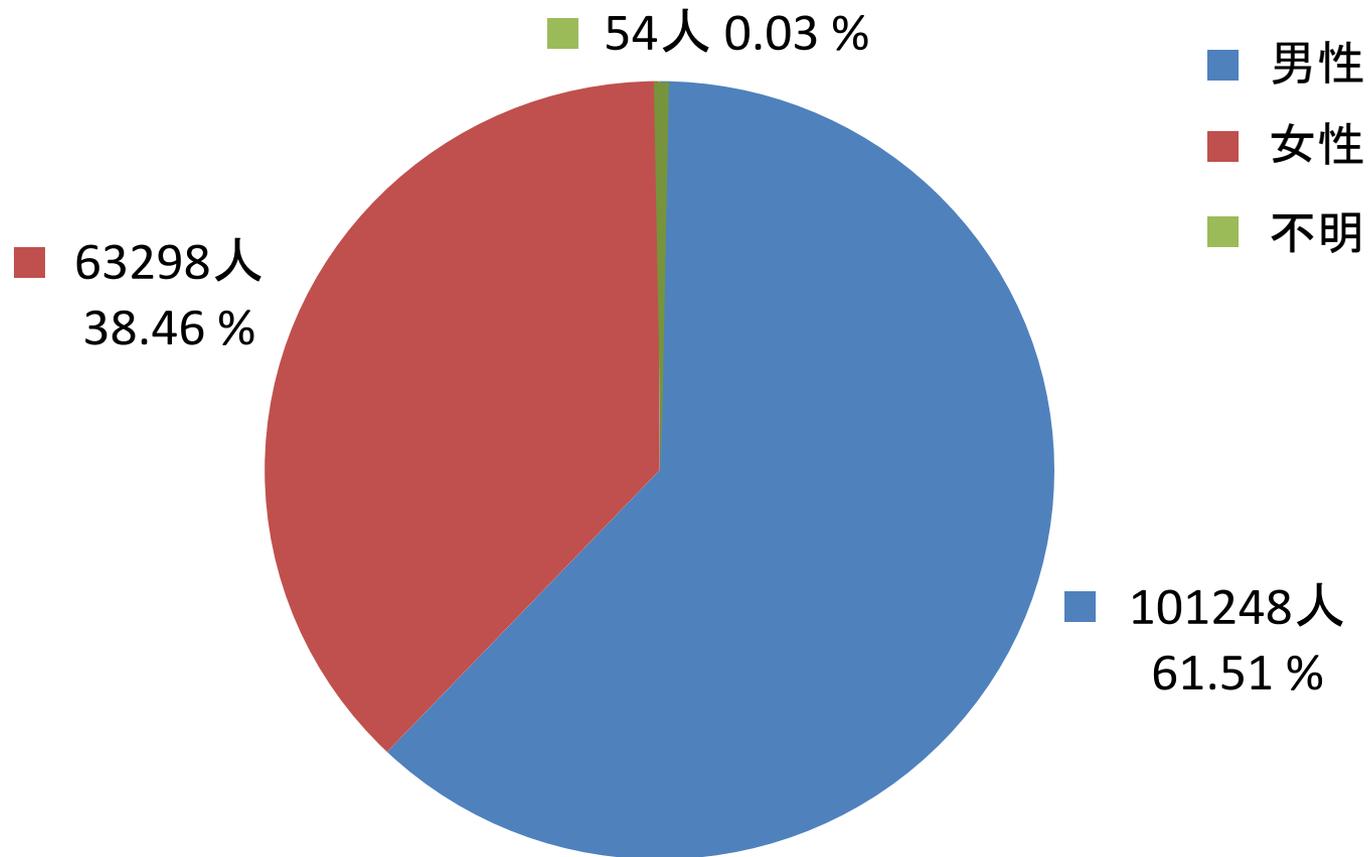


Figure
32

不慮の事故および労災による外傷患者の性別年齢分布

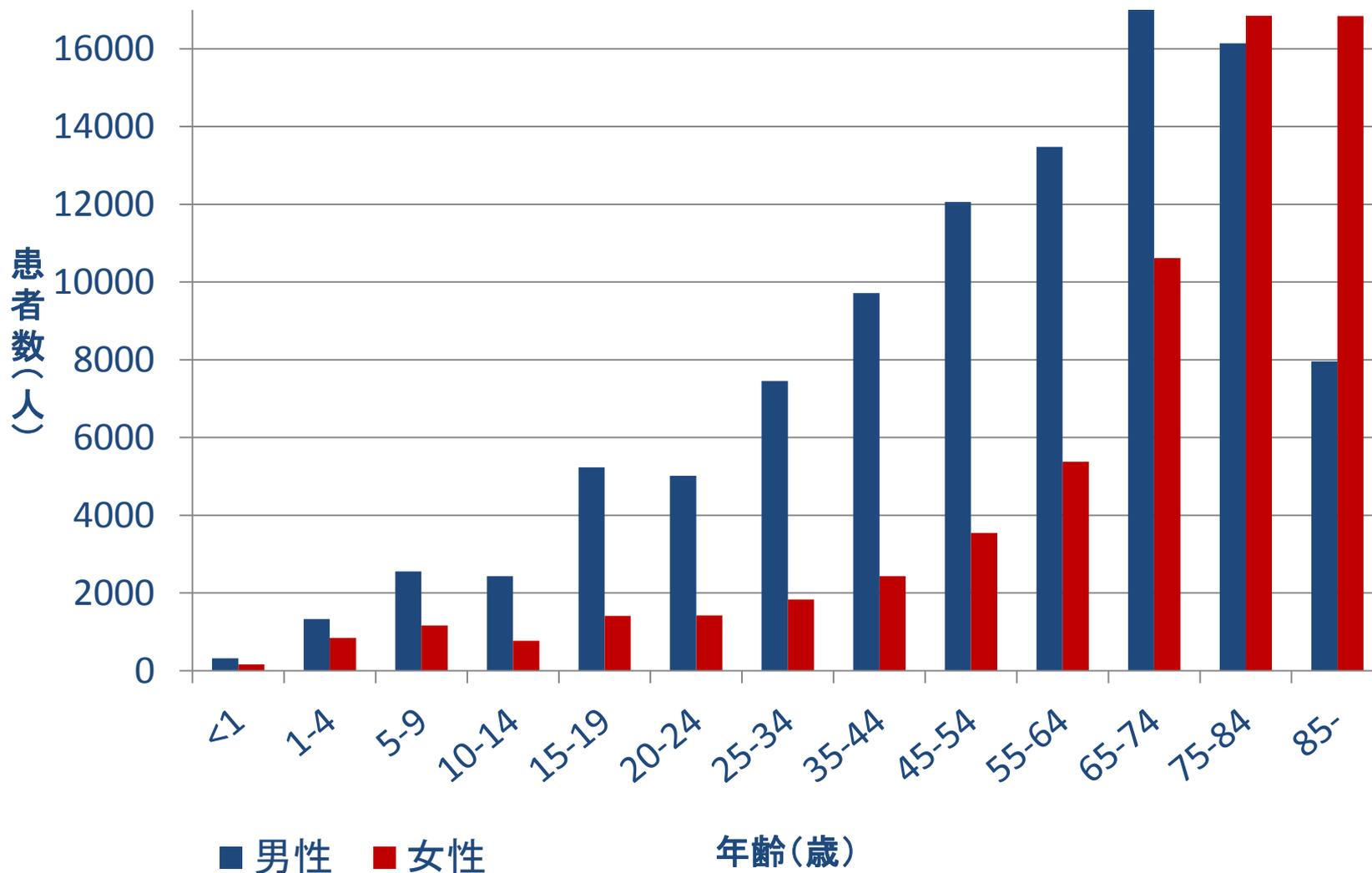


Table
32

不慮の事故および労災による外傷患者の性別年齢分布

年齢	男性	女性	計
< 1	318	163	481
1- 4	1326	843	2169
5- 9	2554	1166	3720
10-14	2429	765	3194
15-19	5234	1411	6645
20-24	5011	1420	6431
25-34	7452	1830	9282
35-44	9716	2434	12150
45-54	12061	3543	15604
55-64	13479	5375	18854
65-74	17478	10618	28096
75-84	16143	16848	32991
85-	7960	16841	24801
不明	87	41	128
計	101248	63298	164546

Figure
33

傷害による外傷患者の性別年齢分布

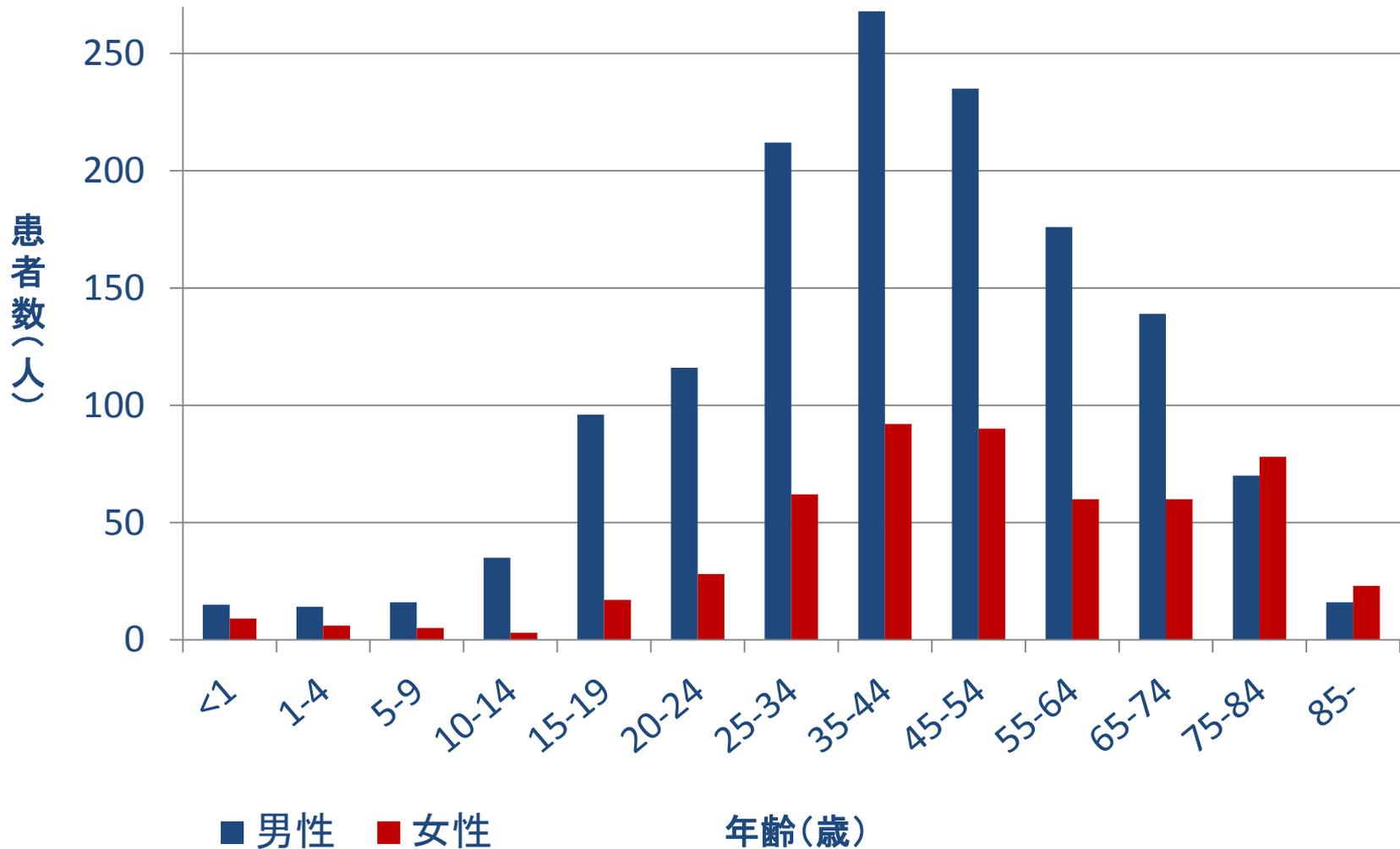


Table
33

傷害による外傷患者の性別年齢分布

年齢	男性	女性	計
< 1	15	9	24
1- 4	14	6	20
5- 9	16	5	21
10-14	35	3	38
15-19	96	17	113
20-24	116	28	144
25-34	212	62	274
35-44	268	92	360
45-54	235	90	325
55-64	176	60	236
65-74	139	60	199
75-84	70	78	148
85-	16	23	39
不明	2	0	2
計	1410	533	1943

Figure
34

自傷による外傷患者の性別年齢分布

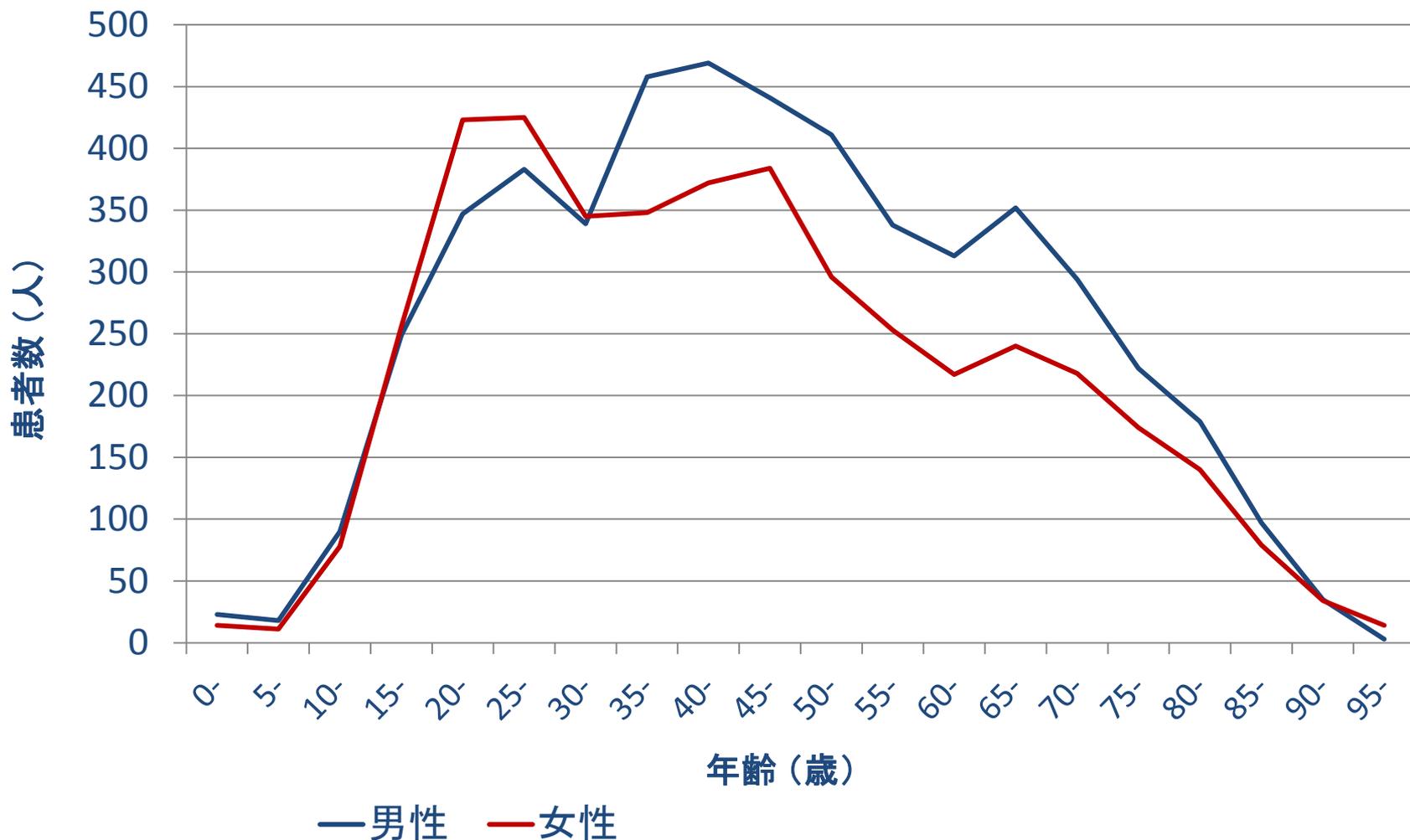


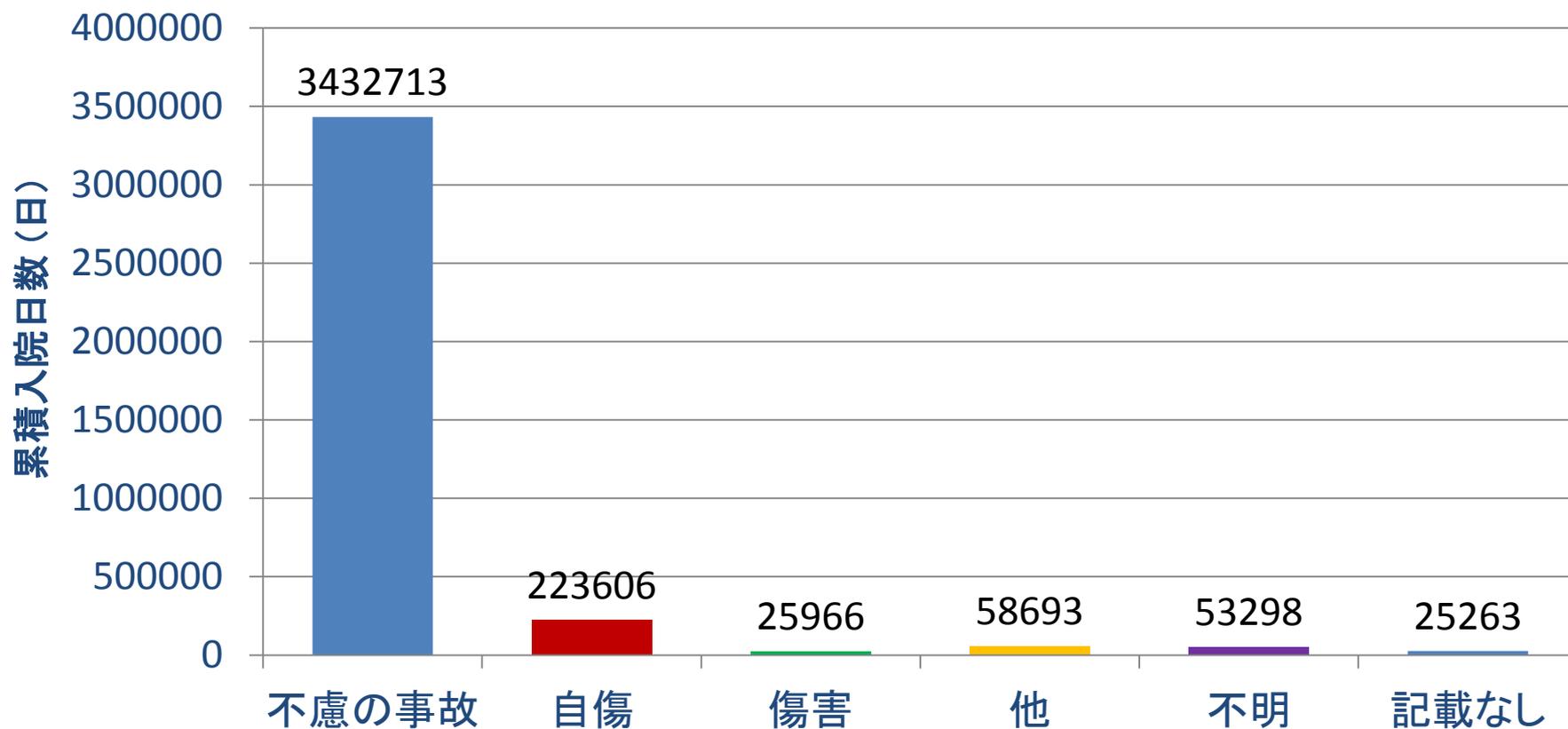
Table
34

自傷による外傷患者の性別年齢分布

Age Sex	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-89	90-94	95-	Unkn wn	Total
Female	14	11	78	256	423	425	345	348	372	384	296	253	217	240	218	174	140	79	34	14	6	4327
Male	23	18	90	249	347	383	339	458	469	441	411	338	313	352	294	222	179	97	35	3	36	5097
Total	37	29	168	505	770	808	684	806	841	825	707	591	530	592	512	396	319	176	69	17	42	9424

Figure
35A

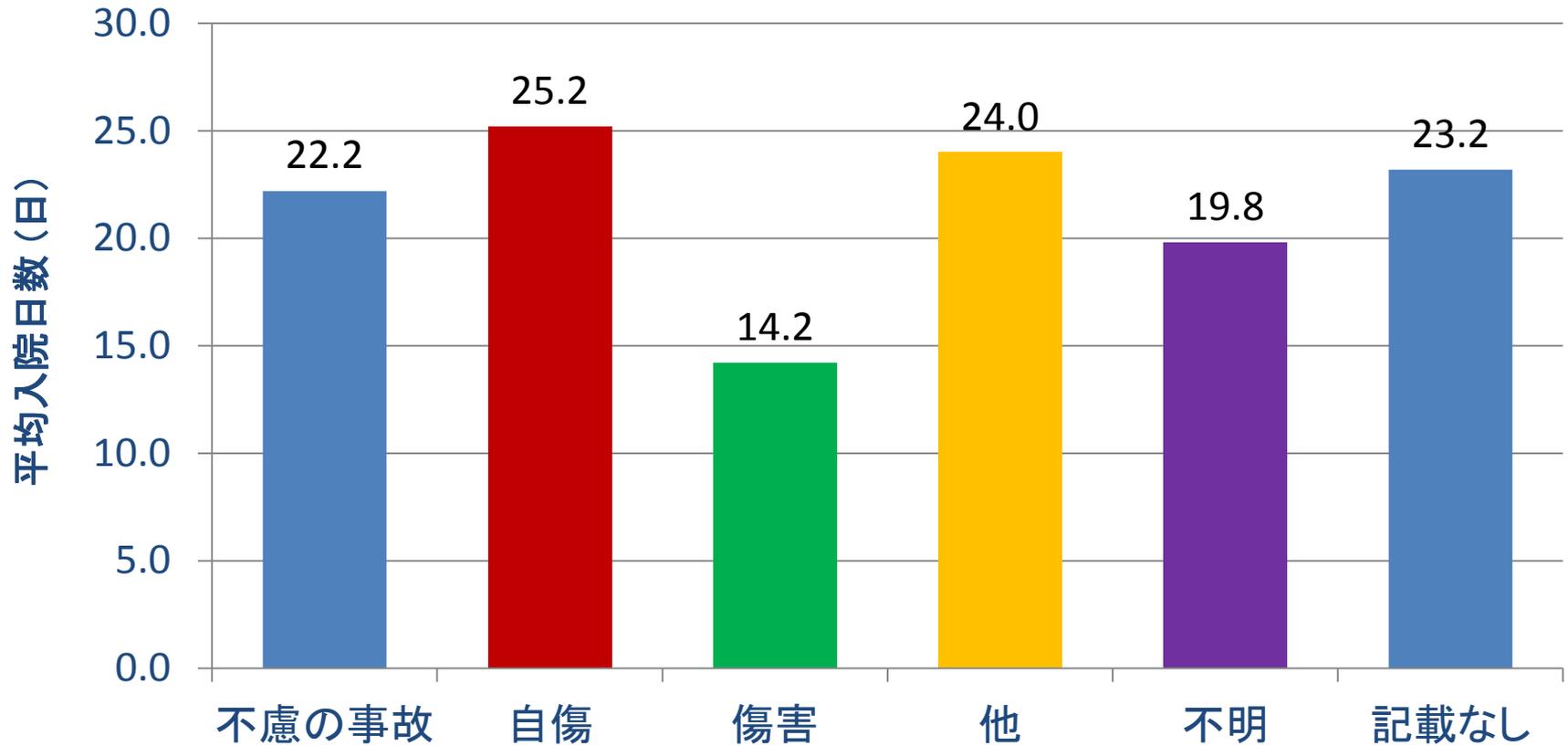
外傷原因別の累積入院日数



「記載なし」とは、外傷原因の記載がないものを指す。
不慮の事故には、労災も含まれる。

Figure
35B

外傷原因別の平均入院日数



不慮の事故には、労災も含まれる。

Figure
36

各部位損傷症例数

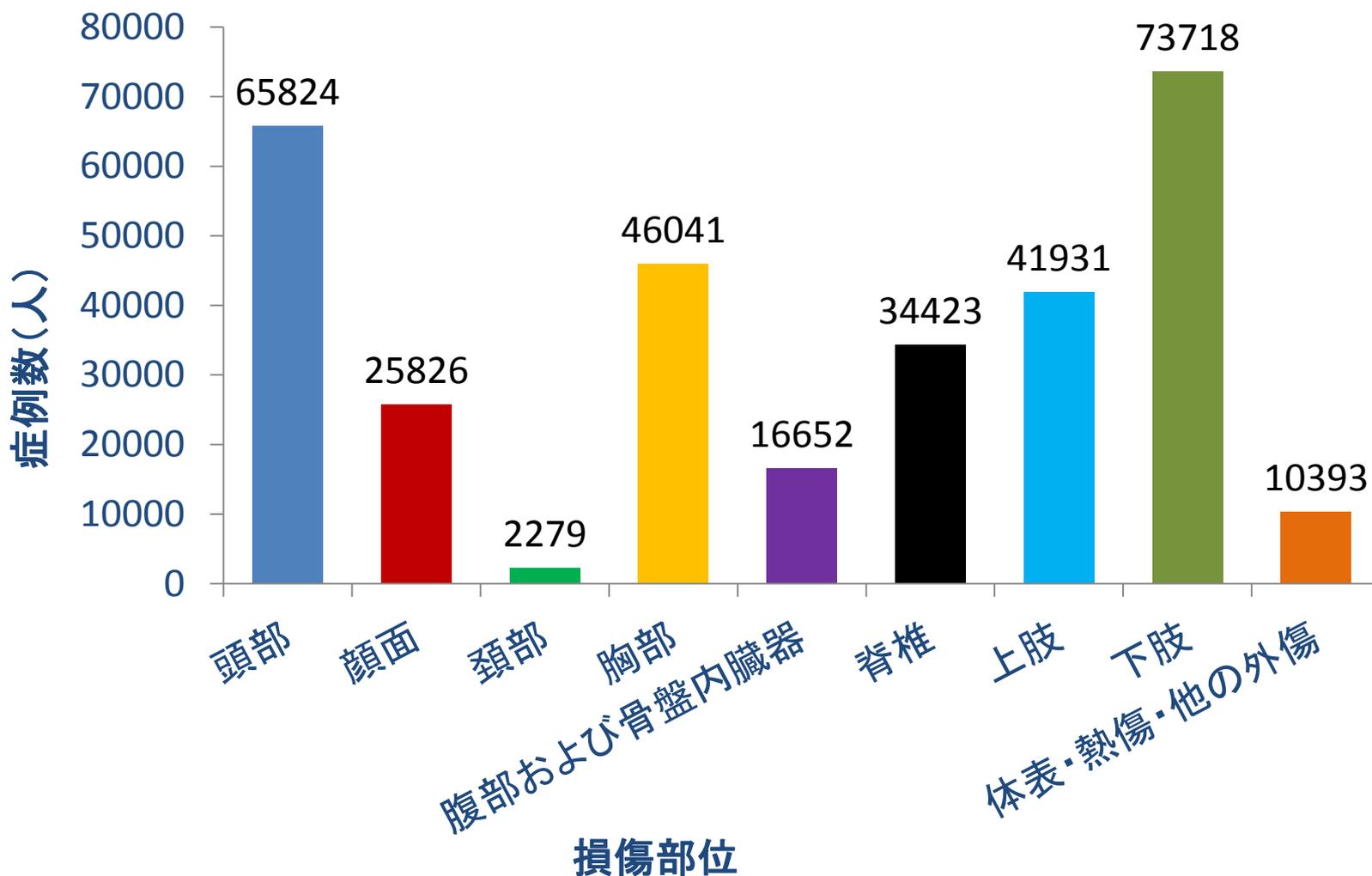


Figure
37A

頭部損傷とmaxAIS重症度

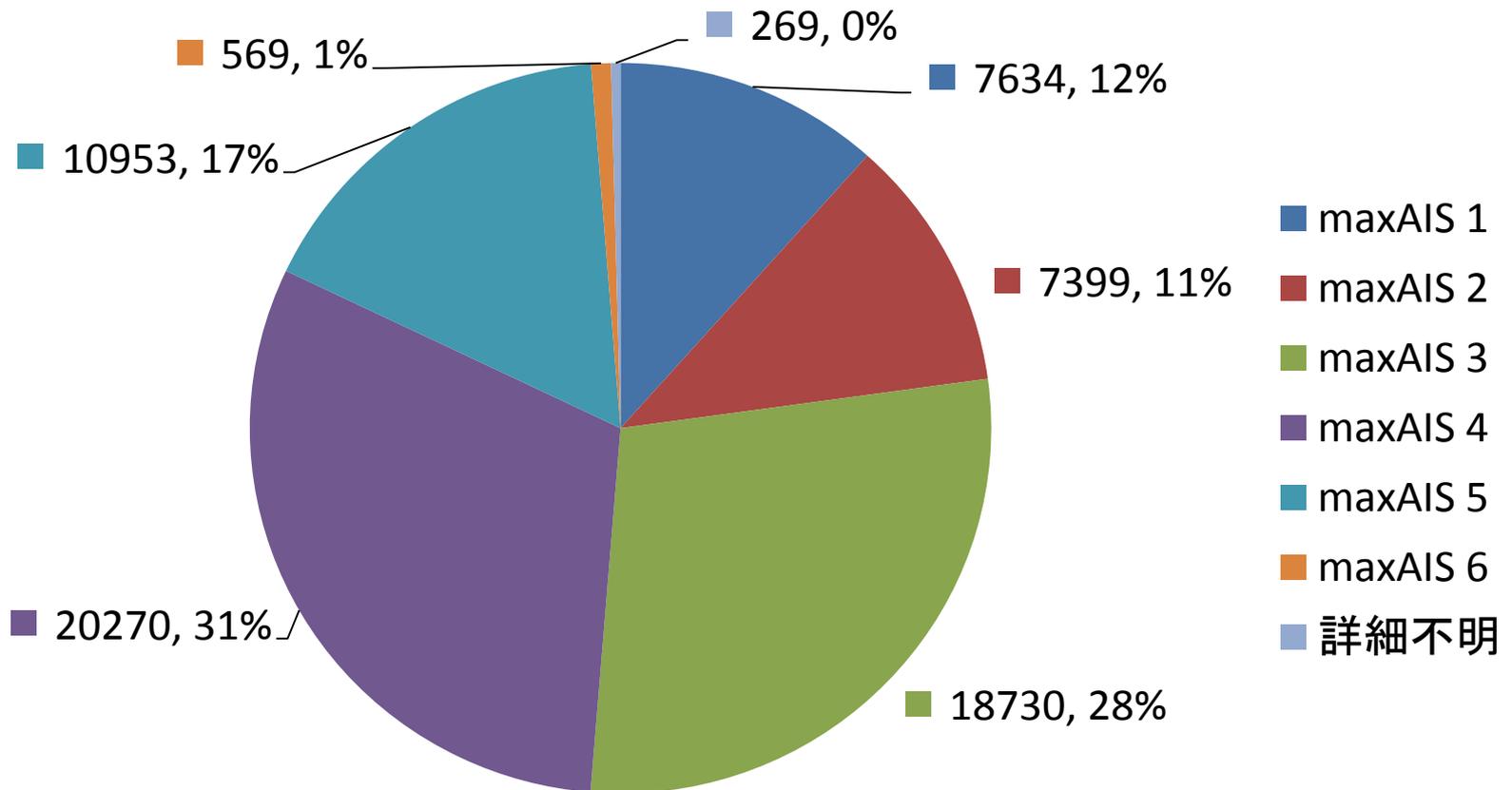


Figure
37B

顔面損傷とmaxAIS重症度

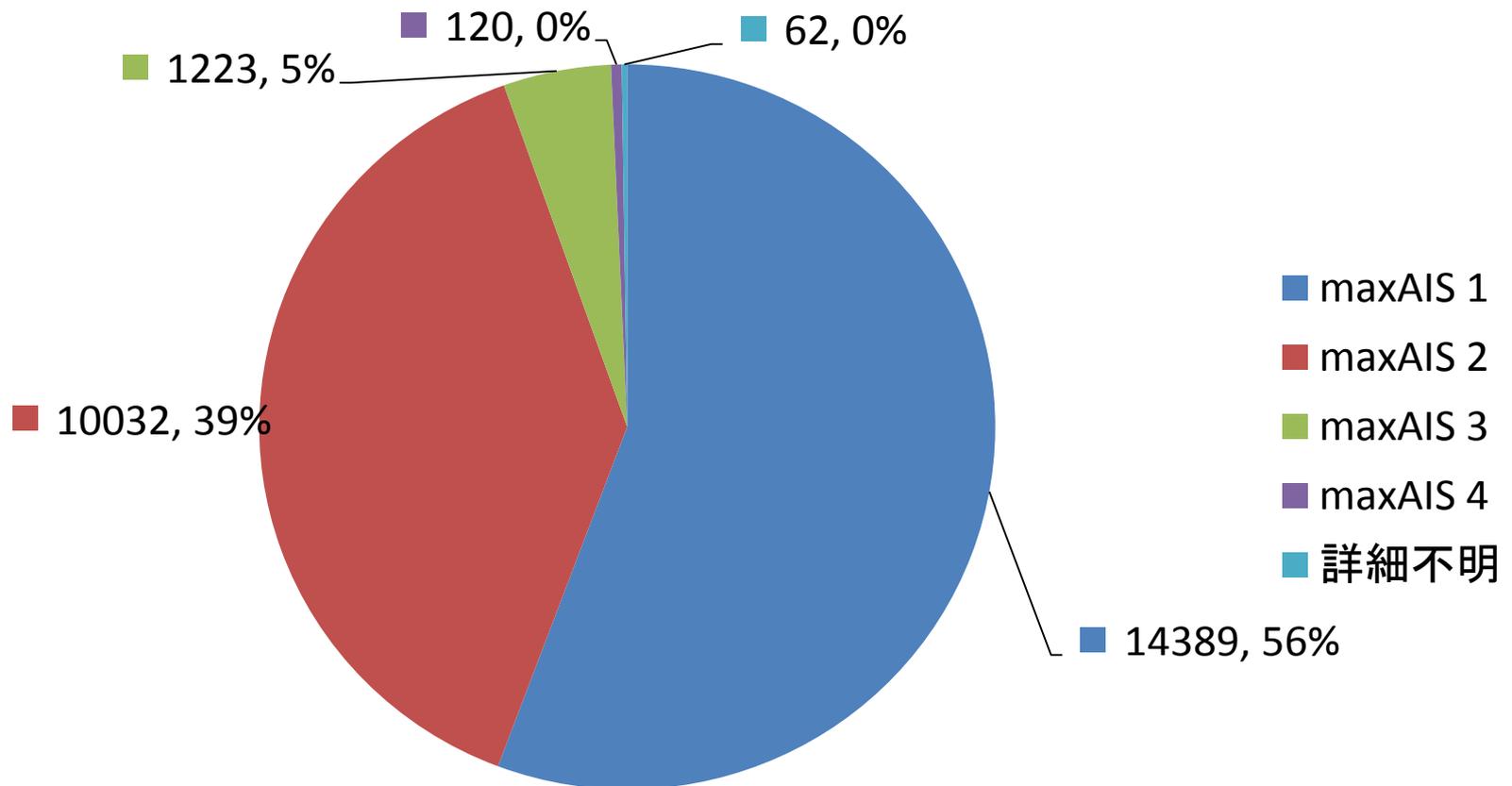


Figure
37C

頸部損傷とmaxAIS重症度

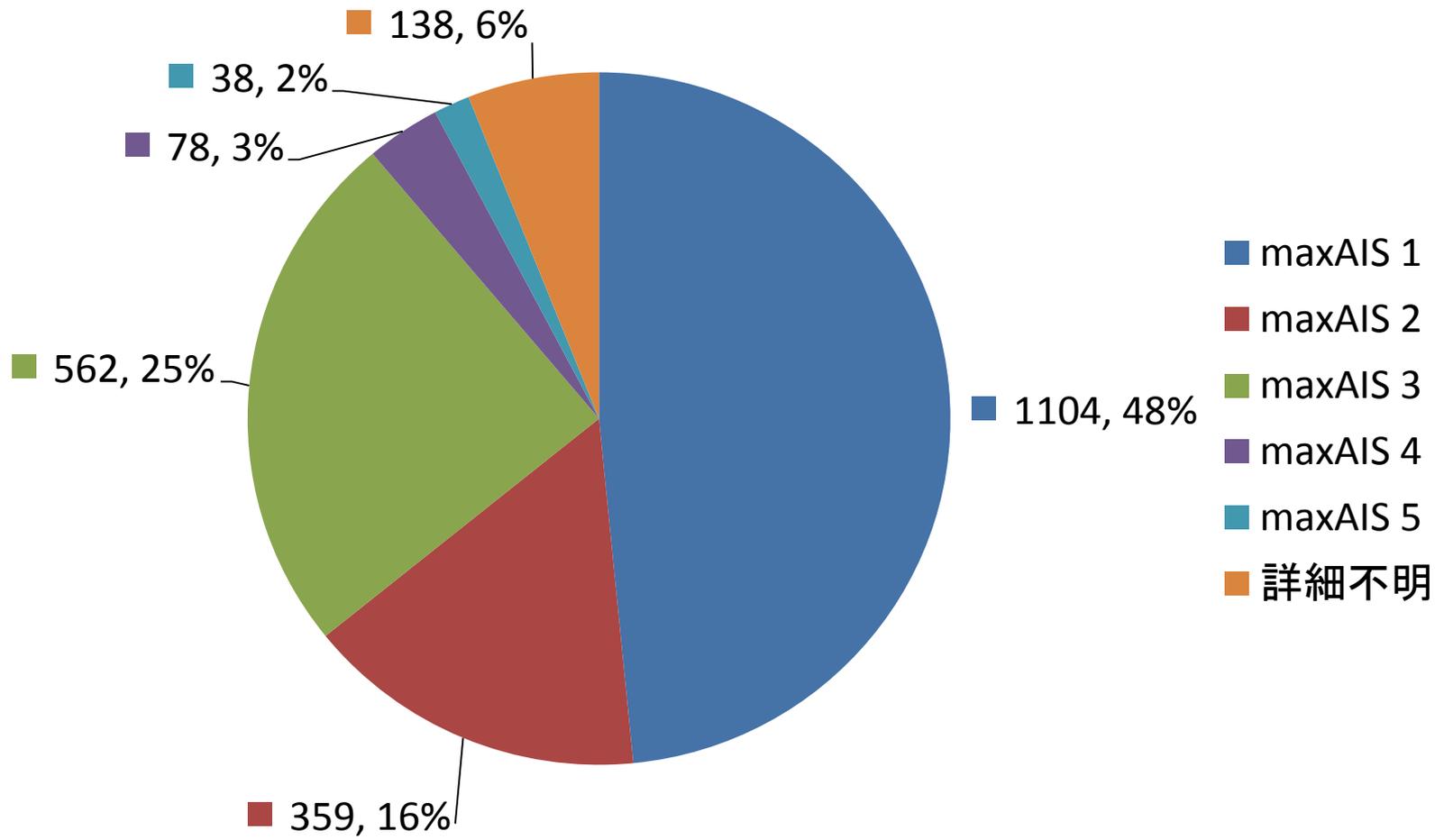


Figure
37D

胸部損傷とmaxAIS重症度

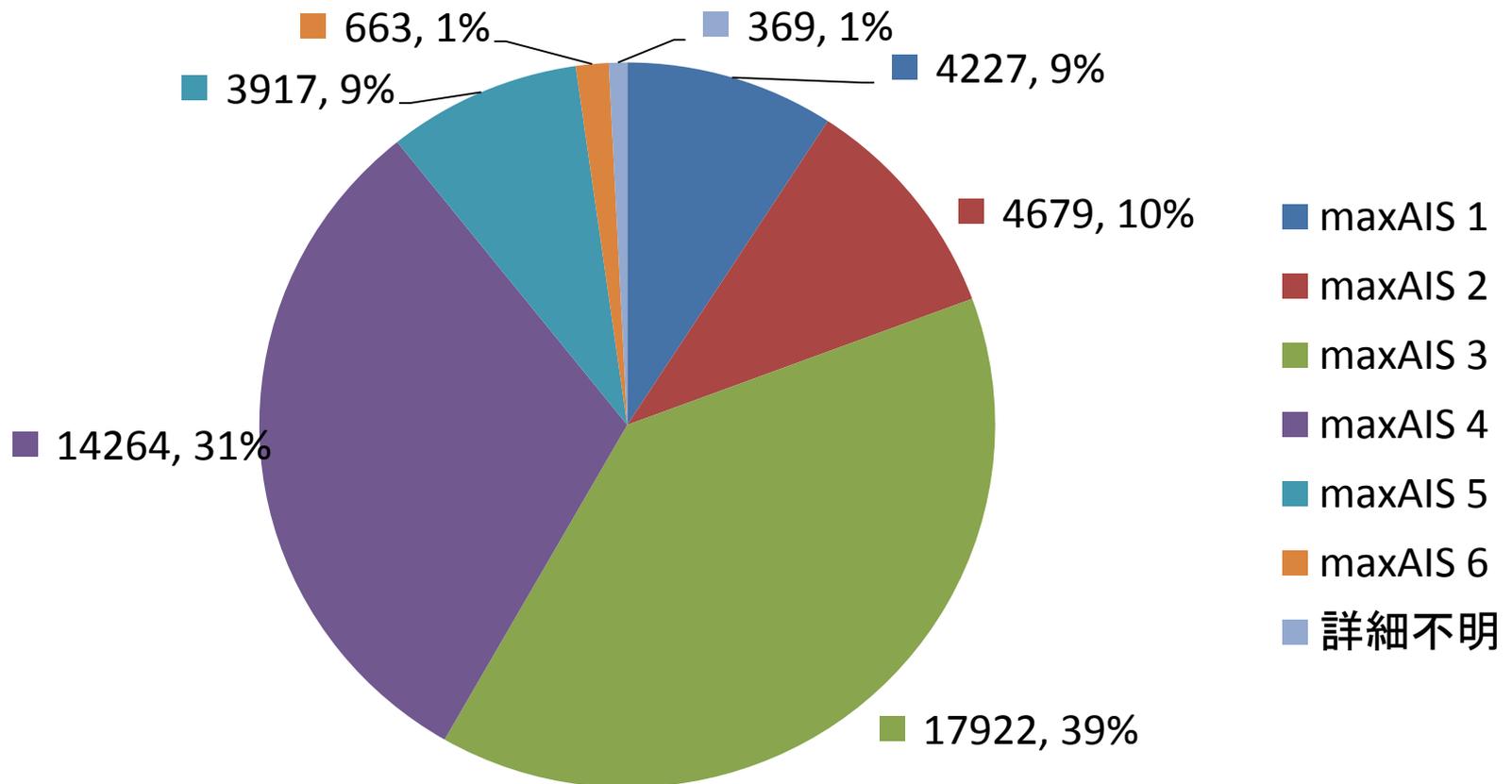


Figure
37E

腹部および骨盤内臓器損傷とmaxAIS重症度

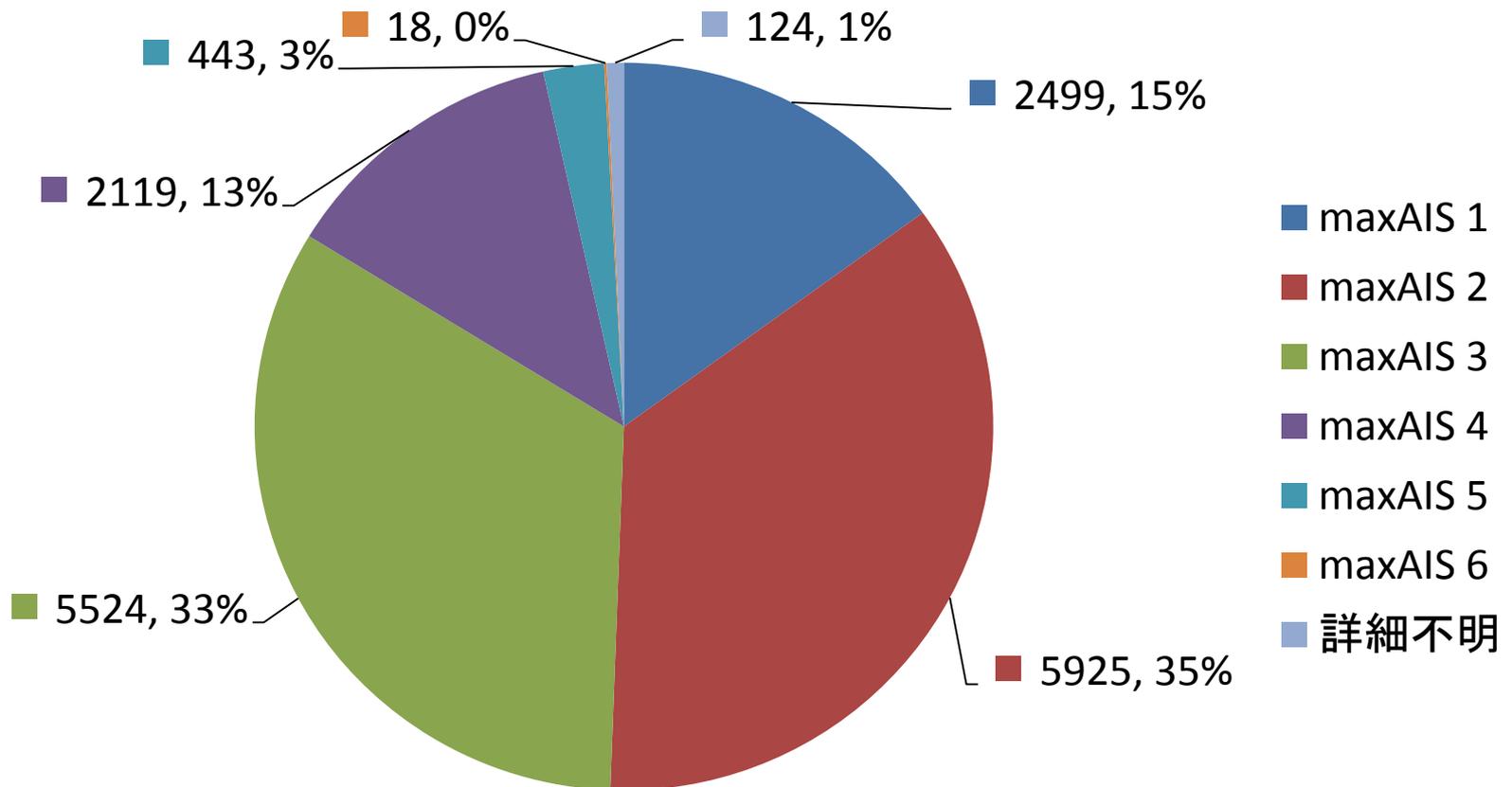


Figure
37F

脊椎損傷と maxAIS 重症度

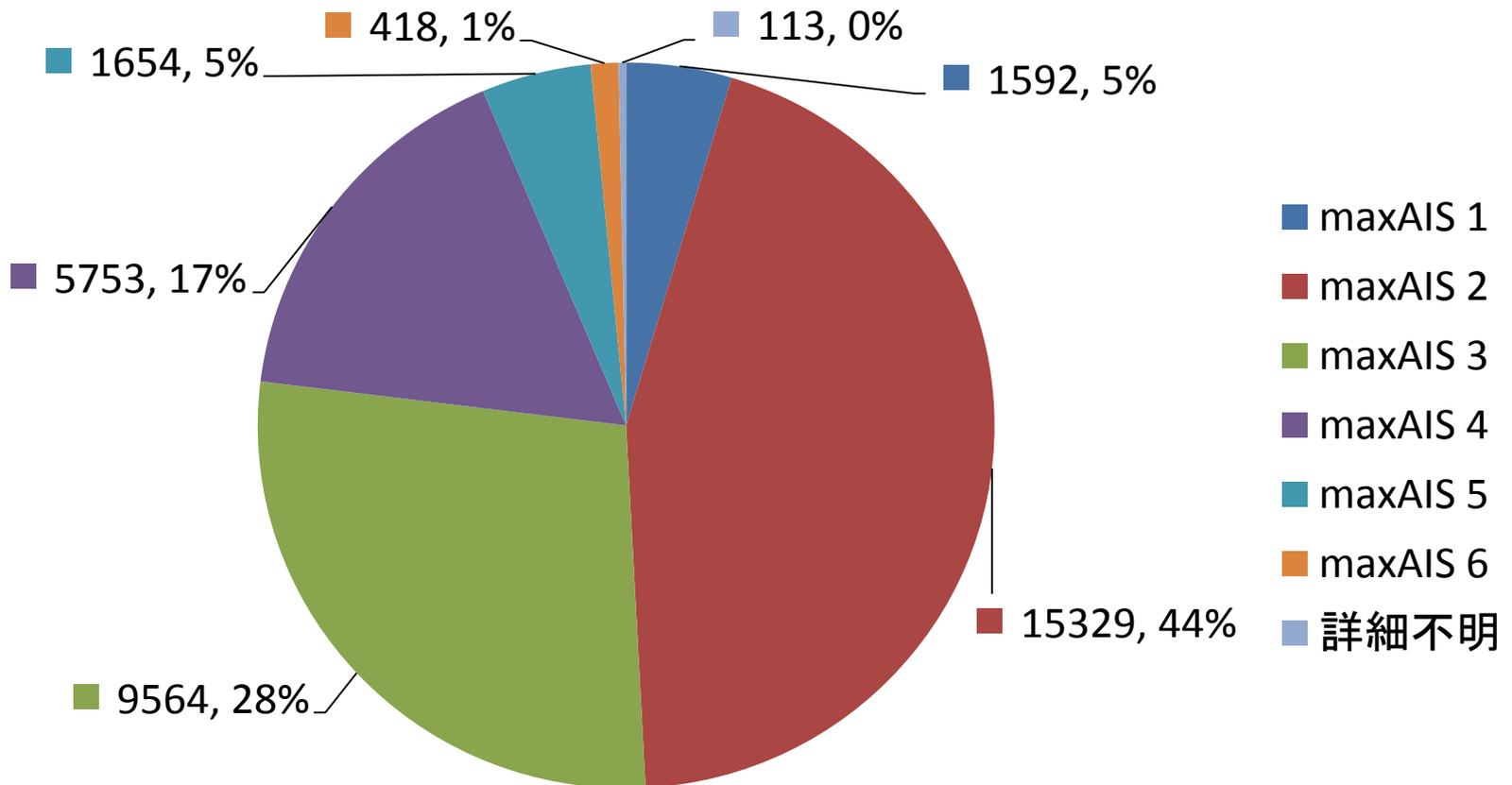


Figure
37G

上肢損傷と maxAIS重症度

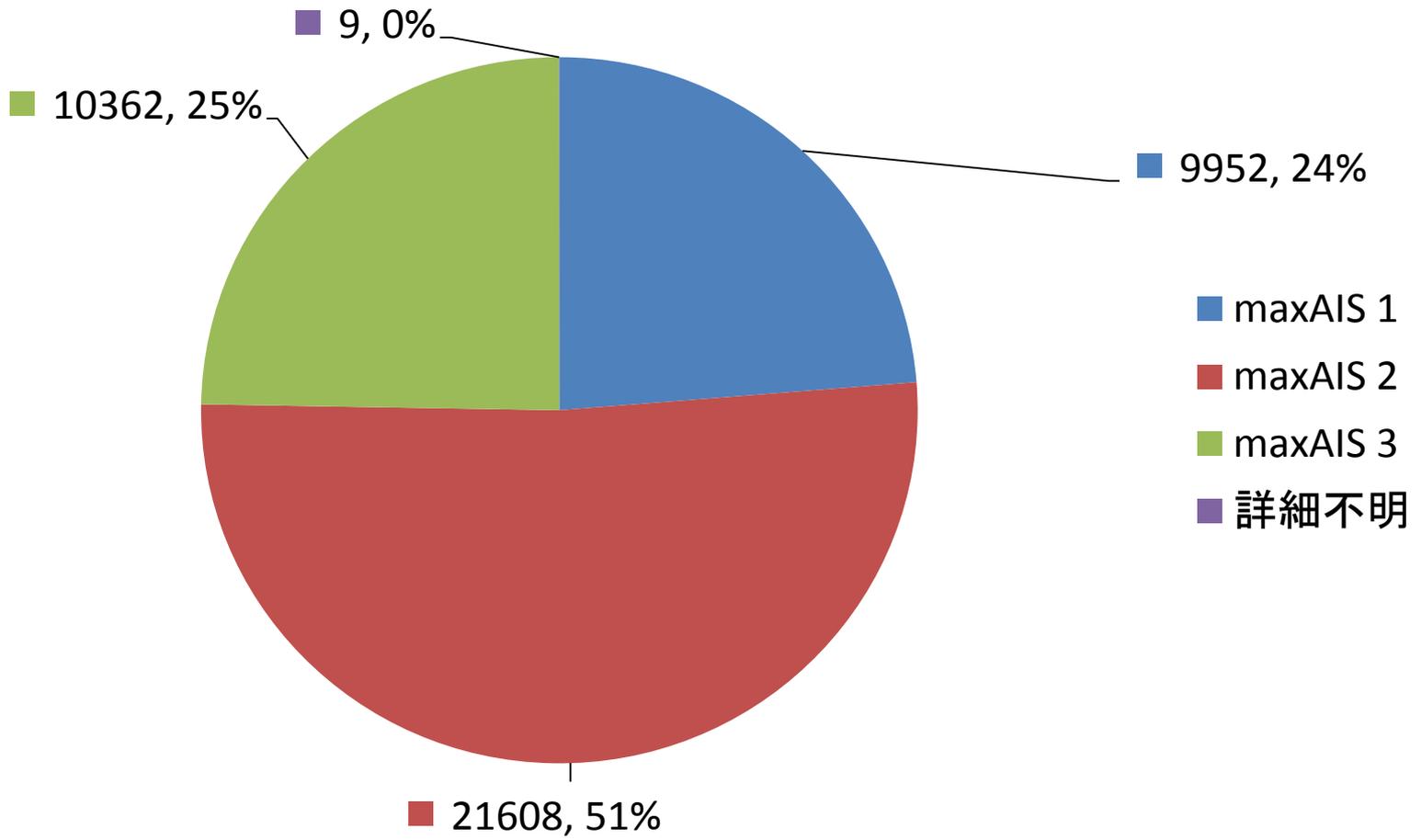


Figure
37H

下肢損傷と maxAIS重症度

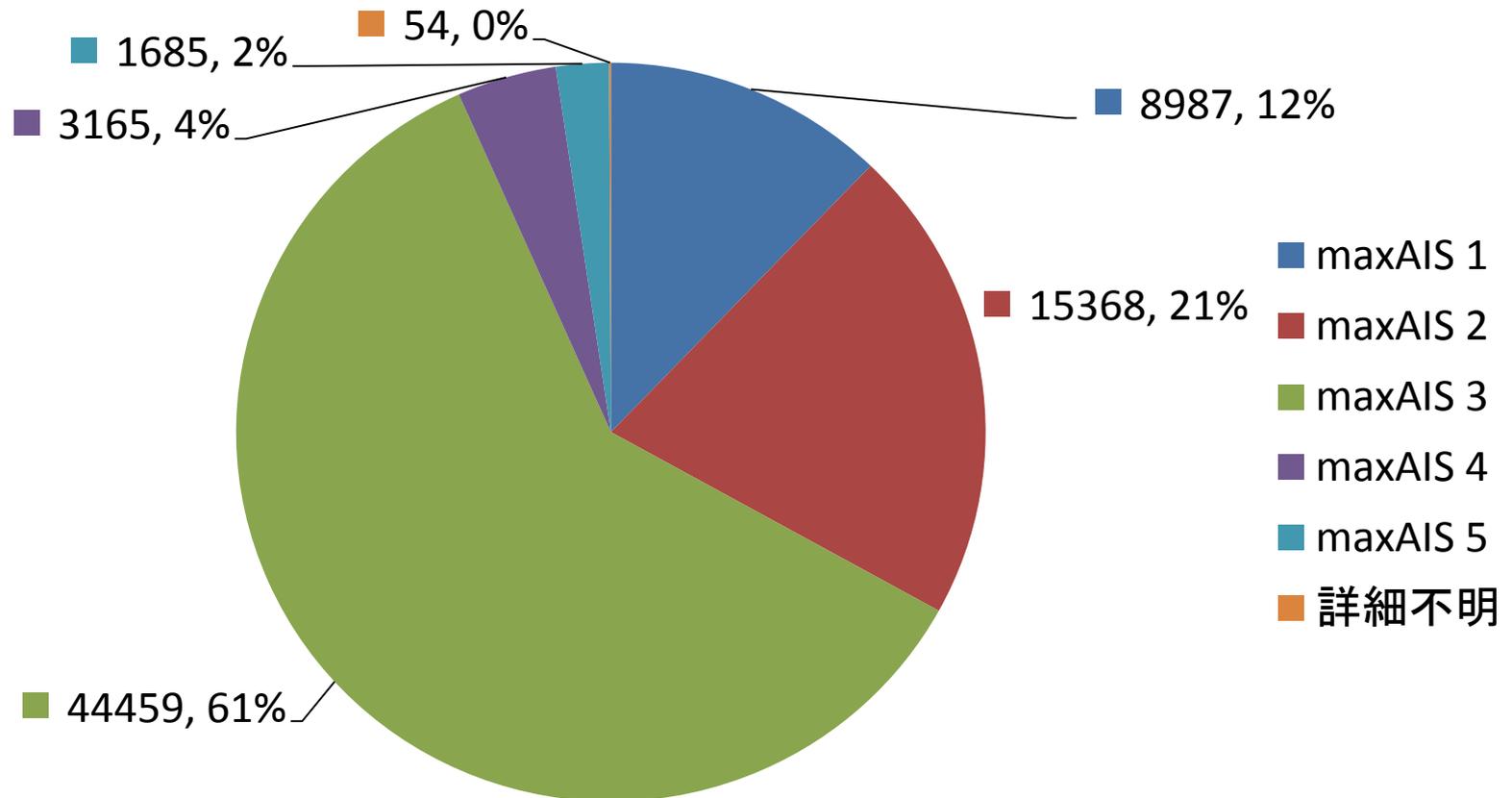


Figure
37I

体表・熱傷・他の外傷とmaxAIS重症度

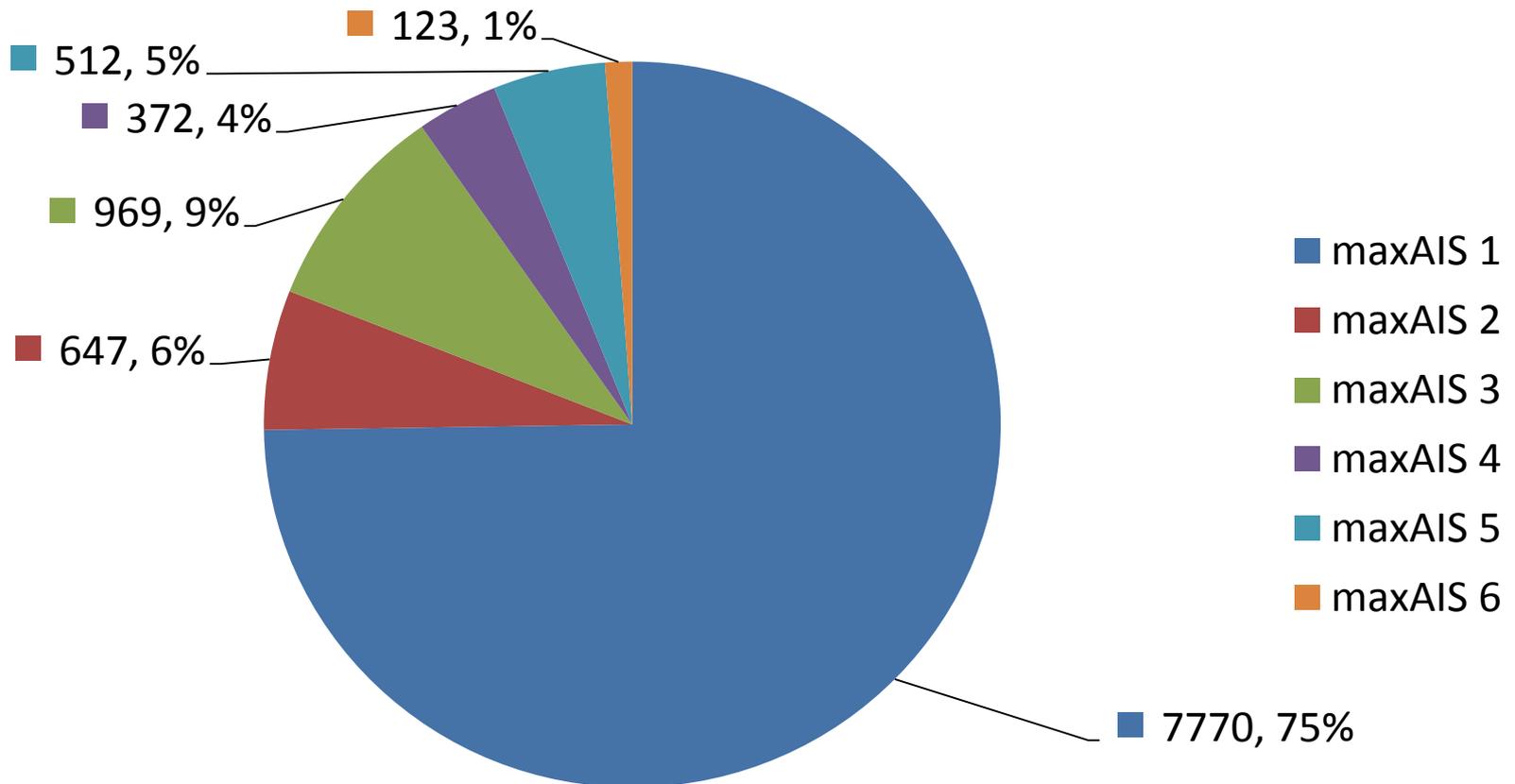
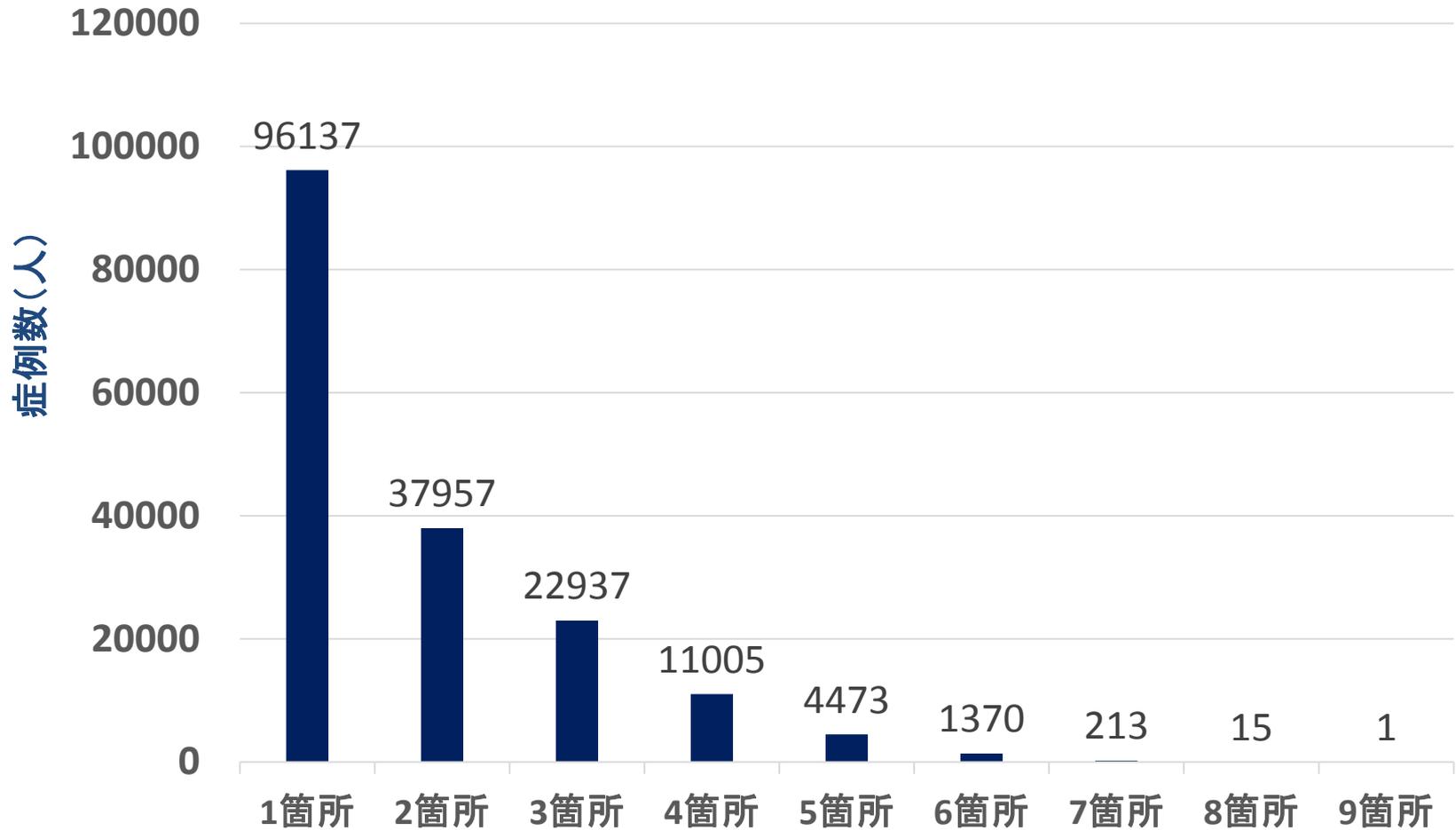


Figure
38

AIS 損傷区分に基づく損傷箇所数と症例数



日本外傷データベース報告 2019
(2014-2018)
JAPAN TRAUMA DATA BANK
REPORT 2018 (2013-2017)

2019年11月16日



日本救急医学会 診療の質評価指標に関する委員会
担当理事 坂本哲也
委員長 森村尚登
日本外傷学会 トラウマレジストリー検討委員会
委員長 齋藤大蔵

タスクフォース

阿部智一
上野正人
内田靖之
織田 順
木村昭夫
阪本雄一郎
白石 淳
田中啓司
東平日出夫
中原慎二
林 宗貴
増野智彦
三宅康史
山口芳裕